

平成22年度
決算説明資料

平成23年10月5日

総務関係

目 次

	頁
1 議会報告会の開催経費について	1
2 議会報告会の他の自治体での開催実績について	2
3 主な議会広報について	3
4 市民の意見を聴く会について	4
5 議会広報にかかる補正予算要求について	6
6 市長室の経費の推移について	7
7 平成22年度市長の公務による国内出張について	8
8 市長の公務と政務の取り扱いについて	10
9 職員に支給される手当について	19
10 管理職員の給与削減について	26
11 平成22年度における訴訟事件の状況について	27
12 平成22年度市長及び副市長の海外出張について	28
13 市長の海外出張にかかる復命書について	30
14 市長のエアポートセールスに係る復命書（抜すい）について	32
15 留学生支援金給付事業について	36
16 平成22年度における職員の海外出張について	38
17 電子市役所の推進における情報システム関連経費について	39
18 情報システム全体最適化計画の概要について	40
19 地域委員会について	41
20 平成22年度経営アドバイザーの活動実績について	65

21	附属機関等について	71
22	男女平等参画推進センターの講座一覧について	77
23	中部国際空港の利用状況の推移について	80
24	モノづくり文化交流拠点の基盤整備等について	81
25	名古屋開府400年記念事業について	82
26	2010年上海国際博覧会への出展について	86
27	広報なごや及びテレビ・ラジオ番組の費用対効果について	88
28	広報なごやの市政アンケート結果について	90
29	分限処分及び懲戒処分について	91
30	監察にかかる費用について	92
31	職員研修について	93
32	職員の採用説明会について	97
33	市議会解散請求署名審査、市議会の解散投票等について	98
34	署名簿の縦覧会場における縦覧者の行為及びその対応について	100
35	署名審査における行政不服審査法に基づく審査請求の状況について	101
36	市・県議会議員選挙における住所区以外の選挙区から立候補した候補者 について	102
37	市長不在期間の市長日程の対応について	104
38	市長辞職及び議会解散による予算の成立過程について	105
39	議会解散により発生した経費について	105
40	22年度通常枠予算における圧縮額への対応について	106

1 議会報告会の開催経費について

事 項	金 額
職員の超過勤務手当（注）	千円 267
配布資料及び消耗品経費	81
合 計	348

（注）週休日の振替を取得した時間は、超過勤務手当の支給対象外

（延べ23名、74時間45分）

（参考）開催日時及び場所

日 時	時 間	場 所
4月16日（金）	午後6時30分～午後8時	西区役所講堂
4月17日（土）	午前10時～午前11時30分	熱田区役所講堂
4月17日（土）	午後2時～午後3時30分	天白区役所講堂
4月18日（日）	午後2時～午後3時30分	中村区役所講堂
4月18日（日）	午後6時～午後7時30分	守山区役所講堂

2 議会報告会の他の自治体での開催実績について

区分	自治体数（注）	主な開催事例と内容
都道府県	2	○岩手県「本音で語ろう県議会」（議会費） ・予算、決算特別委員会の審議状況 ・県議会に対する意見や提言
		○静岡県「出前県議会」（議会費） ・県議会の活動報告 ・北駿地域の振興
政令指定都市	0	—
特別区	0	—
市（政令指定都市を除く）	85	○福島県会津若松市 「市民との意見交換会」（議会費） ・定例会の報告 ・市政、市議会に対する意見や提言
町村	113	○北海道栗山町「議会報告会」（議会費） ・議決した主な議案の審議状況 ・総合計画の主な事業内容
合計	200	—

（注）「全国自治体議会の運営に関する実態調査2011」

自治体議会改革フォーラム調べ（平成22年1月～12月開催分）

3 主な議会広報について

都市名	決算額	内 容	
	千円		千円
横浜市	63,588	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会広報紙の発行(年4回) 39,710 ・ 議会広報番組のテレビ放送 23,878 	
京都市	11,864	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会広報紙の発行(年4回) 11,864 ・ 本会議中継のテレビ放送 — ※ 	
大阪市	30,532	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会広報紙の発行(年4回) 11,770 ・ 議会広報番組のテレビ放送 18,762 	
神戸市	8,744	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会広報紙の発行(年4回) 8,744 	
名古屋市	37,703	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会広報紙の発行(年7回) 37,703 	

(注) 1 インターネット等による広報経費を除く。

2 ※執行機関において予算を計上

4 市民の意見を聴く会について

(1) 概要

平成22年8月21日に名古屋市公館で開催

参加人数 248人 アンケート回答人数 131人

(2) アンケート集計結果

ア 議会報告会の開催

区 分	人数	割 合
ぜひ議会として報告会を開催してほしい。	人 85	% 64.9
どちらかといえば議会として報告会を開催してほしい。	21	16.0
議会として行う必要はなく、個人または会派で開催してほしい。	12	9.2
その他	5	3.8
未記入	8	6.1
合 計	131	100.0

イ 市会だよりの増刊

区 分	人数	割 合
ぜひ増刊をして、広報を充実してほしい。	人 70	% 53.4
どちらかといえば増刊してほしい。	18	13.7
現状のままでよい。	27	20.6
その他	12	9.2
未記入	4	3.1
合 計	131	100.0

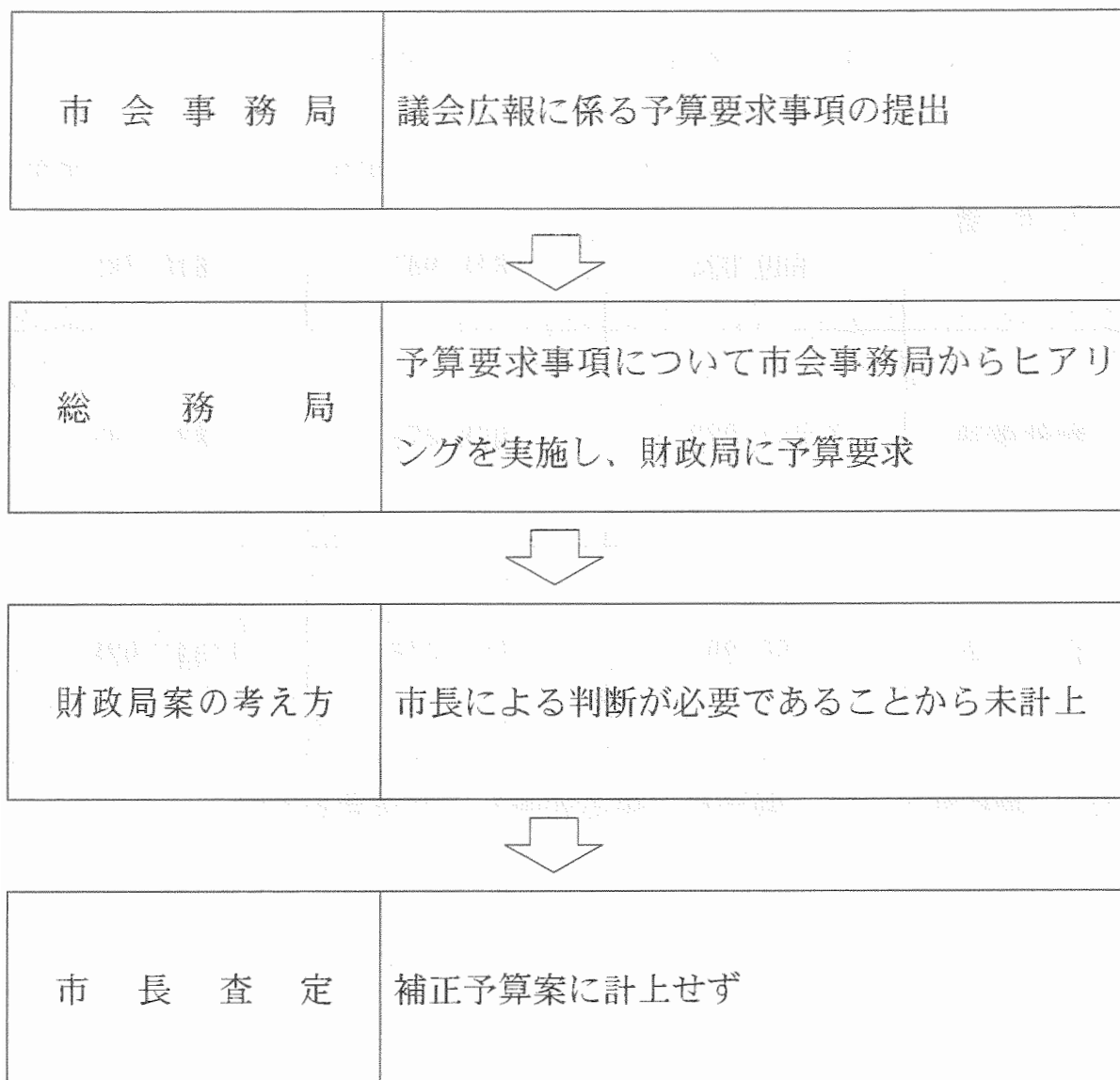
(3) 会場における主な発言

- ・ 議会の総意という点で議会報告会を大いにやってほしい。
- ・ 今日の会はとてもいいなと思う。市民に目を向けて話をしているのを見るのは初めて。地域の中でみんなの意見を聞いてほしい。
- ・ 今日の意見交換はいい機会。市民の立場に立って議論をしてきている。積極的に議会からの発信をしてほしい。
- ・ 議会報告会は、今後、どのようなやり方をするのか。例えば焦点をしぼるとか、魅力ある説明会にしないといけない。
- ・ 議会からの発信を市長が妨げるのはいかがかと思う。
- ・ マスコミで分かりやすく情報が出ているのに、なぜ今頃、広報という気持ち。選出区の区民と議員との話し合いの場を設けるべき。
- ・ 市会だよりが出てても市民はあまり関心を示さない。費用対効果があると思えない。市民が議会に興味を持つPRをしてほしい。
- ・ 議会全体で経費削減して広報に取り組みばいいのではないか。

(4) 開催経費

事 項	金 額
職員の超過勤務手当	91 千円
学識経験者招致経費	42
配布資料及び消耗品経費	36
合 計	169

5 議会広報にかかる補正予算要求について



6 市長室の経費の推移について

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人件費	千円 669,024	千円 616,941	千円 610,783
物件費等	1,081,273	968,475	831,145
合 計	1,750,297	1,585,416	1,441,928

(注) 物件費等には、嘱託員に係る報酬及び共済費を含む。

7 平成22年度市長の公務による国内出張について

日 時	用 務	出張先	
4月2日	国際コンテナ戦略港湾の選定にかかるプレゼンテーションに出席のため	東京都	
4月6日 ～4月7日	伊勢湾の国際コンテナ戦略港湾の選定に向けた説明会に出席のため	東京都	
4月14日	総務大臣との意見交換及び日本記者クラブ研究会での講演のため	東京都	※
5月1日 ～5月2日	名古屋市民おんたけ休暇村宿泊施設視察のため	長野県	
5月7日	一括交付金に関する意見及び国際コンテナ戦略港湾に関する提案のため	東京都	※
5月11日	横浜市・大阪市・名古屋市による3市長懇談会及び指定都市市長会議に出席のため	神奈川県	
5月13日	地方自治経営学会研究大会に出席のため	東京都	
5月15日	「名古屋開府400年記念 大なごや祭 in 渋谷」ステージイベントに参加のため	東京都	
5月17日	国際コンテナ戦略港湾検討委員会プレゼンテーションに出席のため	東京都	
6月2日	指定都市市長会緊急意見等の提案のため	東京都	
7月16日	名古屋市独自提案（平成23年度国の施策及び予算に関する重点事項の提案）及び名古屋港に関する要請のため	東京都	
7月23日	名古屋市独自提案（平成23年度国の施策及び予算に関する重点事項の提案）のため	東京都	

日 時	用 務	出張先	
7月29日	指定都市共同提案（平成23年度国の施策及び予算に関する提案）のため	東京都	※
8月4日	指定都市市長会議に出席のため	東京都	
8月10日	中部圏知事会議に出席のため	福井県	
8月27日	国際バルク戦略港湾選定にかかるプレゼンテーションに出席のため	東京都	
9月1日	東海三県一市知事市長会議に出席のため	岐阜県	
10月13日	平成23年度予算編成等に対する緊急意見の提案のため	東京都	※
11月15日	首都圏魅力発信イベント並びに本市出身及び本市所在の学校に在学した東京方面の官公庁職員に対する本市事業説明会に出席のため	東京都	
12月17日	関西プレスクラブでの講演のため	大阪市	
12月21日	立命館大学で行われる「全国知事リレー講義」への講師として出席のため	京都市	
12月24日	指定都市市長会議に出席のため	東京都	※
2月24日 ～2月25日	共通番号制度に係る外部委員会からの意見書の報告のため	東京都	※
3月11日	各意見交換のため（国有地（名城地区）の売却について）	東京都	

（注）※出張用務の前又は後ろに政務日程があったもの

8 市長の公務と政務の取り扱いについて

- (1) 日程調整、随行及び送迎の基本的な考え方
 公務については市長室秘書課で対応
 政務については河村たかし事務所で対応

(2) 平成22年9月の市長日程における公用車による送迎

9月1日(水)

区 分	公用車による送迎
政 務	—
公務(庁内)	○
公務(庁外)	○
自 宅	○

9月2日(木)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	○
自 宅	○

9月3日(金)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	○
公務(庁外)	○
自 宅	○

9月4日(土)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
自 宅	○

9月5日(日)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
自 宅	○
公務(庁外)	○
自 宅	○

9月6日(月)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
公務(庁外)	○
公務(庁内)	○
自 宅	○

9月7日(火)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
自 宅	○

9月8日(水)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
公務(庁内)	○
自 宅	○

9月9日(木)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
自 宅	○

9月10日(金)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
自 宅	○

9月11日(土)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
自 宅	○

9月12日(日)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
自 宅	○
公務(庁外)	○
自 宅	○

9月13日(月)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
自 宅	○

9月14日(火)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
公務(庁外)	○
公務(庁内)	○
自 宅	○

9月15日(水)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
自 宅	○

9月16日(木)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
自 宅	○

9月17日(金)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
公務(庁内)	○
公務(庁外)	○
自 宅	○

9月18日(土)

区 分	公用車による送迎
政 務	-
公務(庁外)	
政 務	-

9月19日(日)

区 分	公用車による送迎
政 務	○
公務(庁外)	
政 務	-

9月20日(祝・月)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
自 宅	○

9月21日(火)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
自 宅	○
公務(庁内)	○
政 務	—

9月22日(水)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
公務(庁外)	○
政 務	○

9月23日(祝・木)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
自 宅	○

9月24日(金)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
自 宅	○
公務(庁内)	○
政 務	○

9月25日(土)

区 分	公用車による送迎
政 務	—

9月26日(日)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
自 宅	○

9月27日(月)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
自 宅	○

9月28日(火)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
自 宅	○

9月29日(水)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁外)	
公務(庁内)	○
公務(庁外)	○
公務(庁内)	○
自 宅	○

9月30日(木)

区 分	公用車による送迎
自 宅	○
公務(庁内)	
公務(庁外)	○
公務(庁内)	○
公務(庁外)	○
自 宅	○

9 職員に支給される手当について

手当名	支給要件及び支給額
管理職手当	課長級以上の職員に対して、月額43,000円～158,000円の範囲で支給
扶養手当	<p>扶養親族のある職員に月額で支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配偶者 14,200円 ・配偶者以外の被扶養者 <ol style="list-style-type: none"> 1 2人目まで <ol style="list-style-type: none"> (1) 次の(2)、(3)の場合以外 被扶養者1人につき6,000円 (2) 扶養親族でない配偶者がある場合の1人目 6,700円 (3) 配偶者がいない場合の1人目 11,200円 2 3人目以降 被扶養者1人につき4,000円 3 16歳～22歳の子がいる場合 上記のそれぞれの額に、被扶養者1人につき5,000円加算
地域手当	<p>民間における賃金が特に高い都市部の地方公共団体であるため、この地域における民間賃金をよりの確に反映するために支給</p> <p>支給月額は、給料+管理職手当+扶養手当の月額の合計額の10%（東京都特別区在勤者は18%、医師及び歯科医師は12%）相当額</p>

住居手当	自らが居住する住居に係る費用を負担している職員に月額2,500円を支給
通勤手当	通勤費用を負担している職員に支給 <ul style="list-style-type: none"> ・交通機関利用者 運賃相当額（月額50,000円を限度） ・交通用具利用者 交通用具の種類や使用距離により月額1,000円～20,900円
初任給調整手当	医師及び歯科医師等で要件に該当する者に対して、月額1,500円～183,100円の範囲内で支給（人材確保のため特に必要があると市長が認めるときは、月額66,000円以内で加算）
単身赴任手当	異動等で配偶者と別居し単身で生活する職員に対して、交通距離に応じて月額23,000円～68,000円の範囲で支給
特殊勤務手当	感染症予防作業手当 感染症の発生に伴う感染症の患者の移送及び感染症の患者若しくはその死体又は感染症の病原体に汚染された家屋の消毒業務等を行う職員に支給 <ul style="list-style-type: none"> ・日額80円～200円
	放射線取扱手当 自ら放射線の発生装置又は機器等を操作して行う医療用の診療、撮影又は検査業務を行う職員に支給 <ul style="list-style-type: none"> ・日額240円
	公害調査指導手当 公害防止に係る調査、立入検査又は指導に関する直接の業務を行う職員に支給 <ul style="list-style-type: none"> ・日額100円又は120円

特殊勤務手当	高圧電線取扱手当	高圧又は特別高圧の電路の裸電線の周辺0.5メートルの範囲内における業務を行う職員に支給 ・1時間70円
	高所作業手当	地上又は水面上8メートル以上の足場(電柱、樹木、鉄骨又は仮設物等の不安定なものに限る。)における作業を行う職員に支給 ・日額190円
	火災出動手当	危険かつ困難な火災鎮圧活動業務を行う職員に支給 ・1回230円～800円
	救急出動手当	救急用自動車により出動して行う救助活動業務等を行う職員に支給 ・1回200円～800円
	災害時応急作業手当	河川の増水若しくははん濫、家屋の倒壊又は土砂崩れの現場における被災者若しくは要救助者の人命救助活動又は人命検索活動の業務等を行う職員に支給 ・1時間260円又は330円
	動物取扱手当	動物の飼育業務等を行う職員に支給 ・日額160円又は330円
	有害物取扱手当	換気不十分な室内において、有害ガスを発生する薬品を使用して行う試験、研究又は検査業務を行う職員に支給 ・日額100円
	道路上・悪水路内等作業手当	アスファルト、れき青乳剤、タール又は砂利を使用して行う道路補修業務等を行う職員に支給 ・日額120円～250円
	ごみ及びし尿収集処理手当	し尿吸上自動車に随伴して行うし尿の汲取り又は処理業務等を行う職員に支給 ・日額350円～1,700円

	野犬捕獲・管理手当	犬の捕獲業務又は引き取った犬等の処理業務等を行う職員に支給 ・日額130円～1,700円
	と畜検査業務手当	と畜検査員の業務等を行う職員に支給 ・日額660円～1,330円
	霊園・斎場作業手当	火葬業務を行う職員に支給 ・1体90円
特殊勤務手当	特定現場勤務手当	工事現場における監督業務を行う職員に支給 ・日額160円
	死体処理手当	医療保健施設等における人の死体の解剖の補助業務又は解剖室の清掃業務を行う職員に支給 ・日額410円
	用地交渉等現地折衝手当	都市整備事業等の企画及び施行のため必要とする地元住民の権利関係の調査、用地の取得又は建物等の移転に関する交渉等を行う職員に支給 ・日額360円又は400円
	滞納処分等現地折衝手当	都市公園等の管理に関する住居のない者との現地での直接業務等を行う職員に支給 ・日額160円～540円
	精神保健福祉相談員等訪問指導手当	精神障害者の訪問指導業務を行う職員に支給 ・日額90円
	夜間業務手当	正規の勤務時間による勤務の一部又は全部として午後10時から翌日の午前5時までの間における業務を行う職員に支給 ・1回660円～3,580円

特 殊 勤 務 手 当	福祉業務手当	児童福祉施設における児童の指導又は養護等の業務等を行う職員に支給 ・日額130円～6,970円
	教員特殊業務手当	学校の管理下において行う非常災害時における生徒若しくは幼児の保護又は緊急の防災若しくは復旧の業務等を行う職員に支給 ・日額200円～3,400円又は1時間600円若しくは900円
	講師業務手当	本市立の学校（教育委員会所管の学校を除く。）において本務のほか、講師として教授を行う業務を行う職員に支給 ・1授業時数800円～1,200円
	医師研究手当	医療及び保健指導の業務並びに医学に関する調査研究業務を行う職員に支給 ・日額710円～1,190円
	航空業務手当	ヘリコプターの操縦業務等を行う職員に支給 ・1回480円～4,760円
定時制教育手当	定時制課程を置く高等学校において定時制教育に従事する教員に対して、給料月額4%又は7%相当額を支給	
産業教育手当	高等学校において工業に係る産業教育に従事する教員で一定の要件に該当する者に対して、給料月額3%又は7%相当額を支給	

<p>超過勤務手当</p>	<p>正規の勤務時間外に勤務した職員に支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間当たりの給与額×支給割合（100分の125～100分の185）×正規の勤務時間外に勤務した時間数
<p>休日給</p>	<p>休日において、正規の勤務時間中に勤務した職員に支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間当たりの給与額×100分の135×休日の正規の勤務時間中に勤務した時間数
<p>夜勤手当</p>	<p>正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務した職員に支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間当たりの給与額×100分の25×正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務した時間数
<p>宿日直手当</p>	<p>日直勤務又は宿直勤務をした職員に、勤務1回につき4,400円～26,500円の範囲で支給</p>
<p>管理職員特別勤務手当</p>	<p>課長級以上の職員が臨時又は緊急の必要等により週休日又は休日に勤務した場合に、勤務1回につき4,000円～18,000円の範囲で支給</p>

<p>期末・勤勉手当</p>	<p>民間企業のボーナスにあたるものであり、期末手当は6月1日及び12月1日（これらの日を「基準日」という。）にそれぞれ在職する職員の在職期間に応じて支給され、勤勉手当はそれぞれ基準日に在職する職員に対し、基準日以前6ヶ月以内の期間におけるその者の勤務成績に応じて支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月期 1. 90月 ・ 12月期 2. 05月
<p>義務教育等教員特別手当</p>	<p>高等学校又は幼稚園に勤務する教員に対して、月額1,850円～13,800円の範囲で支給</p>
<p>災害派遣手当</p>	<p>災害対策基本法に規定する職員が、住所又は居所を離れて本市の区域に滞在することを要する場合に、その者に対して政令の規定に基づき総務大臣が基準として定める額と同額を日額で支給</p>

10 管理職員の給与削減について

区分	平均給与月額 (管理職手当)	削減内容	削減理由
市長部局	円 618,218 (62,959)	給料 局長・部長級 2% 課長級 1% 管理職手当 30%	財政健全化のため実施

- (注) 1 平均給与月額は、平成22年4月1日現在の行政職給料表適用の管理職員の額
2 管理職手当は、平成22年度決算額

(参考) 企業局の状況

区分	平均給与月額 (管理職手当)	削減内容	削減理由
上下水道局	円 610,284 (60,781)	給料 局長・部長級 2% 課長級 1% 管理職手当 30%	市長部局に準じて実施
交通局	604,570 (95,023)	給料 局長級 12% 部長級 11% 課長級 10%	市営交通事業経営健全化計画による必要な人件費削減額の確保を図るため実施
病院局	618,912 (90,398)	給料 局長・部長級 2% 課長級 1% 管理職手当 30%	市長部局に準じて実施

- (注) 1 平均給与月額は、平成22年4月1日現在の企業職給料表(1)適用の管理職員の額
2 管理職手当は、平成22年度決算額
3 交通局の職員及び病院局の医師・歯科医師は、管理職手当の削減は未実施

11 平成22年度における訴訟事件の状況について

分類		事件名	支出額
行政 事 件	処分取 消請求	所得税更正処分等取消請求事件	千円 2, 310
		組合設立許可処分取消等請求事件	1, 730
		文書非公開処分取消等請求事件	578
		障害程度区分認定に係る処分取消請求事件	578
		行政処分取消請求事件	1, 155
	その他	死亡退職手当金請求事件	578
		開発許可処分執行停止申立事件	420
民 事 事 件	損害賠 償請求 等	損害賠償請求事件（平成16. 6. 28）	1, 155
		損害賠償請求事件（平成19. 1. 12）	1, 155
		損害賠償請求事件（平成21. 4. 1）	1, 155
		損害賠償請求事件（平成21. 6. 12）	1, 155
		損害賠償請求事件（平成21. 7. 15）	945
		損害賠償請求事件（平成21. 9. 17）	578
		損害賠償請求事件（平成21. 12. 9）	578
		慰謝料請求事件（平成22. 1. 7）	578
		損害賠償請求事件（平成22. 3. 5）	365
		損害賠償請求事件（平成22. 3. 9）	578
		損害賠償請求事件（平成22. 5. 7）	1, 155
		損害賠償請求事件（平成22. 5. 13）	1, 155
		慰謝料等請求事件（平成22. 10. 20）	578
		損害賠償請求事件（平成22. 11. 4）	578
	損害賠償請求事件（平成22. 12. 27）	578	
その他	所有権移転登記手続請求事件	578	
		合計	20, 213

(注) 1 平成22年度に支払った弁護士費用

2 提訴分、公営企業所管分等及び市営住宅関連分を除く。

12 平成22年度市長及び副市長の海外出張について

(1) 市長

用 務	訪問都市	旅 費	随行者数	所 管
上海万博名古屋市ウィークオープニングイベントへの出席	上海	千円 550 (202)	人 3	市長室 総務局
シドニー姉妹都市提携30周年記念事業への出席及びエアポートセールスの実施	シドニー ブリスベン メルボルン ケアンズ	2,616 (710)	6	市長室 総務局

- (注) 1 旅費の()内は、市長のみの金額
2 訪問都市のうちケアンズは随行者2名のみ訪問

(2) 山田副市長

用 務	訪問都市	旅 費	随行者数	所 管
環境保全・健康配慮型都市交通に関する都市フォーラム出席及びエアポートセールスの実施	マニラ マリキナ パサイ	千円 ※14 (0)	人 2	総務局 環境局 健康福祉局 緑政土木局
姉妹都市ロサンゼルス・メキシコシティへの出張	ロサンゼルス メキシコシティ	2,264 (835)	3	市長室
エアポートセールスの実施	釜山 ソウル 仁川	295 (179)	1	総務局

- (注) 1 旅費の()内は、副市長のみの金額
2 ※旅費はWHO(世界保健機関)による団体支弁であり、随行者の国内交通費及び旅券交付手数料のみ市費で執行
3 訪問都市のうち仁川は随行者のみ訪問

(3) 住田副市長

用 務	訪問都市	旅 費	随行者数	所 管
上海万博名古屋市ウィークファイナルイベントへの出席及び友好都市南京への出張	上海 南京	千円 598 (206)	人 3	市長室 総務局

(注) 旅費の () 内は、副市長のみの金額










(4) 大西副市長

用 務	訪問都市	旅 費	随行者数	所 管
愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター台湾ミッションへの参加	台北 高雄	千円 399 (262)	人 1	市民経済局

(注) 旅費の () 内は、副市長のみの金額

13 市長の海外出張にかかる復命書について


(1) 復命書


市長室長	市長室次長	秘書課長	秘書課
			 
		国際交流課長	国際交流課
			  


復命書 (出張報告書)


平成22年12月3日

名古屋市長 河村 たかし 様

(所属) 市長室長
(氏名) 新開輝夫 

(所属) 市長室国際交流課長
(氏名) 吉川秀徳 

(所属) 市長室国際交流課
(氏名) 榎本 和章 

(所属) 市長室国際交流課
(氏名) 水野 真穂子 

下記のとおり出張しましたので、報告します。

出張期間	平成22年11月1日(月)～6日(土)
用務	<p>11月1日～4日は、名古屋市とシドニー市が姉妹都市提携30周年を迎えるにあたり、シドニーを訪問し、記念祝賀会や名古屋PRイベント、動物交流式典などへの参加などを通して、より一層の友好親善を図った。また、本市市政運営の参考とするため、モスマン市においては市議会の視察を行った。</p> <p>11月5日は、メルボルンおよびブリスベンにおいては交通施策に関する意見交換と調査等を行った。なお、榎本和章国際交流課交流渉外係長と水野真穂子同係主事は、別行動でNSW州教育訓練省、シドニー市、クレアシドニーとの打ち合わせ、タロンガ動物園視察を行った。</p>
用務先	シドニー市(オーストラリア)

日程および資料などは別添のとおり。

(2) 復命書に対する市長の感想

復命書を初めてみた。手続きはきちんと、しっかりやってほしい。

市民の貴重な税金を使って行く「海外出張」で大事なことは、この出張の成果を、どう名古屋市政に活かすかだと思ふ。

私は海外出張から戻り、定例記者会見や議会の場など折に触れ、具体的な訪問先の事例を紹介した。

私は、公務として出張する国際親善の場を活用して、見聞きしたことを、名古屋市政に活かせるところは活かそうと努力している。市長という立場からきちんと実践し、市政発展に尽くしている。

14 市長のエアポートセールスに係る復命書（抜すい）について

(1) ヴァージンブルー航空グループ

ヴァージンブルー航空グループへのエアポートセールス

- 日時：2010年11月5日（金）9：30～10：30
- 場所：ヴァージンブルー航空会社（ブリスベン）
- 相手方：計5名
 - ・Liz Savage (Group Executive Commercial) Female
 - ・[REDACTED] (General Manager Government Affairs)
 - ・[REDACTED] (General Manager Revenue)
 - ・[REDACTED] (Network Planning Manager International)
 - ・[REDACTED] (Reserch Advisor Government Relations)
- 当方：計7名
 - ・名古屋市長 河村たかし
 - ・同 市長室長 新開輝夫
 - ・同 総務局企画調整監 堀場和夫
 - ・同 企画部主幹 山本 寛
 - ・中部国際空港（株） 代表取締役社長 川上 博
 - ・同 営業本部 旅客営業グループマネージャー [REDACTED]
 - ・通訳 [REDACTED]

●会議概要

- ◆市長挨拶（別紙参照）
- ◆川上社長挨拶
- ◆名古屋市プレゼン（別紙参照）
- ◆中部国際空港プレゼン（別紙参照）

以上通じて、セントレア～オーストラリアの直行便の就航を要望

◆Virgin Blue 航空側の主な意見

- ・弊社の経営規模は小さいが、今まさに成長著しい会社である
- ・前回の訪問の一年前から航空業界も大きく変化した。
- ・LCC でスタートを切ったが、その性格的などころも大きく変化している。
- ・[REDACTED]
- ・[REDACTED]

- ・次の B777 の就航先としてアブダビ線（エティハド航空）について交渉中である。
- ・現在は、主にヨーロッパ向けの商品を考えている。
- ・現実的には、日本への就航はかなり限られたものとなるだろう。
- ・ただし、日本の市場は長期的には魅力的な、マーケットである。
- ・短期的には、何かができるという段階ではない。
- ・日本のマーケットについては、総合的な観点から検討を重ねていくが、参入のタイミングが最も重要な視点である。
- ・LCC といっても幅広いが、今後弊社は中間的な商品として考えると日本に興味がある。
- ・今回のプレゼンをきいて、理解が深まった。
- ・羽田について教えてほしい
 - ⇒中部～羽田はなく、深夜・早朝の長距離便であり、中部の市場を奪うものではない
- ・日本の経済の回復状況は
 - ⇒堅調に回復。中部は従来のものづくり、製造業をベースに航空宇宙産業や次世代自動車産業などに取り組んでいる。

(2) ジェットスター航空

ジェットスター航空へのエアポートセールス

●日時：2010年11月5日（金）17:15～18:00

●場所：ジェットスター航空（メルボルン）

●相手方：1名

・David Koczkar (Chief Commercial Officer)

●当方：計8名

・名古屋市長 河村たかし

・同 市長室長 新開輝夫

・同 総務局企画調整監 堀場和夫

・同 市長室国際交流課長 吉川 秀徳

・同 企画部主幹 山本 寛

・中部国際空港（株） 代表取締役社長 川上 博

・同 営業本部 旅客営業グループマネージャー

・通訳

●会議概要

◆市長挨拶（別紙参照）

◆川上社長挨拶

◆名古屋市プレゼン（別紙参照）

◆中部国際空港プレゼン（別紙参照）

以上通じて、セントレア～オーストラリアの直行便の就航を要望

◆ジェットスター航空側の主な意見

（4週間ほど前にこの新しいオフィスに引っ越したばかりでまだ片付いていない）

・個人的には、2年前の直行便を断念しなければならなかったのは大変残念であり、私が直接名古屋へ出向いてお詫びをしなければならないところです。

・その時には、カンタス航空が5,000万ドルの損失を計上するような非常に厳しい状況の中の苦しい決断だった。

・成田を本拠としており、かつ機材も限られていたのもその要因であった。

・B787の新機材の導入を機にネットワークを拡大したい。

・その際には、日本とオーストラリアは重要な路線であると認識している。

・これから5年間の中で、日本との関係を深めて生きたいと考えている。

・名古屋への直行便については、じっくり話し合いを重ねなければならないと考えており、今回のプレゼンは有難い。

・空港との良好な関係を築いていくことがお互いのためにもっとも大事なことである。

- ・そのためには、長期間の計画が必要である。

・ [REDACTED]

[REDACTED]

・ [REDACTED]

・ [REDACTED]

[REDACTED]

・ [REDACTED]

[REDACTED]

・ [REDACTED]

[REDACTED]

- ・名古屋便は検討していくが、長期的な視点で考えていく。そして柔軟に考える。
- ・セントレアは国内線ネットワークも充実しており、魅力的な空港である。
- ・良いパートナーシップを築いていけたらいいと考えている。
- ・A320d でシンガポールに就航しているが、ブリッジを使わず運用しているが、これは旅行者ができるだけ無駄なお金は使わない傾向に応えることの結果であり、これは空港側にもメリットがあるものと考えている。
- ・早速、協議をはじめましょう！
- ・今日は、私のほか二人が出席予定であったが、病気等で欠席して申し訳ない。

⇒ (川上社長)

- ・エアラインが何を望み、空港側が何ができるか、一緒になって議論を長期的にやりたい。
- ・ [REDACTED] 総合的な視点で議論して相互の良好な関係を築いていきたい。

15 留学生支援金給付事業について

(1) 支給要件・絞り込み方法

<p style="text-align: center;">支 給 要 件</p>	<p>ア 出入国管理及び難民認定法別表第一の四の表に規定する「留学」の在留資格を有する者</p> <p>イ 愛知県内の大学等に私費で在学している者</p> <p>ウ 名古屋市内に外国人登録をしている者</p> <p>エ 申込年度において、名古屋国際センター国際留学生会館に居住していない者</p> <p>オ 国民健康保険に加入している者</p> <p>カ 申込年度の4月に在学しており、引き続き1年間在学を予定している者</p> <p>キ 他の奨学金又はこれに類する金銭給付を受けていない者</p> <p>ク 月間の収入額が10万円以下の者</p> <p>ケ 補助事業の受給者として、別途国際センターが定める各種国際交流事業等への参加が可能な者</p> <p>コ 学業、人物などが優秀で、指導教官の推薦がある者</p>
<p style="text-align: center;">絞 り 込 み 方 法</p>	<p>ア (公財)名古屋国際センターより、愛知県内の各大学を通じて募集</p> <p>イ 各大学から学業成績・生活の困窮度等により優先順位が付けられた応募書類が提出</p> <p>ウ なごや市民留学生交流員支援金審査委員会の開催</p> <p>エ 支援金受給者の決定</p>

(注) 支給要件については、(公財)名古屋国際センター なごや市民留学生交流員支援金給付要綱より抜粋

(2) 市内の大学の留学生を対象とする主な奨学金

種 別	対 象	支給月額	支給 期間	支給人数
日本政府（文部科学省）奨学金	大学院研究生	円 152,000	2年	人 4,747
	学部生	125,000	5年	468
（独）日本学生新機構私費外国人留学生学習奨励費	大学院研究生	65,000	1年	3,470
	学部生	48,000	1年	9,080
愛知県奨学金	大学院研究生	100,000	2.5年	若干名
民間団体奨学金 （36団体）	大学院研究生 学部生	95,000 （平均値）	4か月 ～4年	1,314
市内大学の奨学金 （11大学）	大学院研究生 学部生	37,000 （平均値）	1年 ～2.5年	非公表

（注）（独）日本学生支援機構ウェブサイトより抜粋

16 平成22年度における職員の海外出張について

所 属	人 数	所 属	人 数
市 長 室	20 ^人	緑政土木局	6 ^人
総 務 局	14	上下水道局	9
市民経済局	15	病 院 局	7
環 境 局	6	消 防 局	1
健康福祉局	8	教育委員会	20
子ども青少年局	2	市会事務局	2
住宅都市局	3	合 計	113

(注) 市長、副市長を除く

17 電子市役所の推進における情報システム関連経費について

(1) 情報システム

名称	主な内容	決算額	
		機器賃借料	運用保守委託料
		千円	千円
文書管理システム	文書の収受から廃棄までの一連の手続きを電子化し、電子決裁や電子文書管理を行うシステム	193,821	12,682
職員認証システム	指紋認証等によりパソコンやシステム利用時における職員の厳格な本人確認及び利用権限制御を行うシステム	70,840	20,214
情報サービスネットワーク管理システム	市民が施設予約や抽選結果確認をインターネット等から簡単に行えるようにする基盤システム	42,922	
電子申請システム	市民が行催事等の申込みをインターネットで行うシステム	3,858	

(注) 情報サービスネットワーク管理システム及び電子申請システムは、機器使用も含めた運用委託契約

(2) ネットワーク

名称	主な内容	決算額
行政情報ネットワーク	市役所・区役所・支所等を自営光ファイバー網や民間通信事業者の光ファイバーを利用して接続した情報通信網	千円 270,428

(注) 決算額は、主に機器賃借料、使用料及び通信料

18 情報システム全体最適化計画の概要について

区 分	内 容
趣 旨	全庁的な視点から、情報システム全体として、効率的で費用対効果の高いもの（全体最適）にする。
策定方法	CIO補佐監の助言のもと、副市長（CIO）を会長とする庁内会議において平成22年5月に策定
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムの統合及び標準化 ・ 導入・運用などのプロセスの標準化
主な実施手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 端末調達の統合（端末の標準化） ・ 導入・運用ガイドラインの整備 ・ 内部チェック・外部監査体制の強化
効 果	<p>(1) 情報システム関連経費の削減 システムの機器費用や管理費用など各種経費の削減</p> <p>(2) 業務処理負担の軽減 情報システムの運用方法や調達の手続きを標準化することなどによる作業負担の軽減</p> <p>(3) セキュリティレベルの向上 個人情報保護対策やトラブル対処の迅速化等によるセキュリティの向上</p>

19 地域委員会について

(1) 職員手当の執行状況

区 分	開催回数	会議時間	超過勤務手当額			
			区役所	区内公所	本庁	計
	回	時間	千円	千円	千円	千円
田 代	14	27	145	20	139	304
江 西	14	14	215	15	5	235
汐 路	11	23	403	67	157	627
豊 治	16	25	175	31	79	285
小 幡	9	14	71	16	47	134
桶狭間	9	14	274	60	64	398
貴 船	10	17	211	0	45	256
表 山	13	20	466	54	47	567
合 計	96	154	1,960	263	583	2,806

(注) 会議時間は、延べ時間

(2) 管理職員の参加状況

区 分	延べ人数	延べ時間数	換算金額
区 長	59人	104時間	530千円
部長級	92	153	684
課長級	321	528	2,145
合 計	472	785	3,359

(注) 換算金額は、任用段階別に、平成22年度の1時間当たりの給与額に基づき、超過勤務手当を支払った場合の所要額を試算したものの。

(3) 地域予算の執行状況

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算現額	決算額	
田代	歴史的建造物の実態調査	市	所有者の意向等調査	600	2,415	
			建築物の現況把握	1,400		
			活用方策の提案	1,600		
			報告書の作成(100部)	400		
		小計		4,000	2,415	
	地域マップの作成	実行委	掲載情報の整理	280	1,237	
			散歩道、ビューポイント	840		
			地域マップの作成(22,000枚)	762		
		市	看板の作成、設置(8基)	3,372	2,305	
		小計		5,254	3,542	
	鎮守の森自然観察会	実行委	広報(ポスター100枚、チラシ15,000枚)	300	1,149	
			自然観察会(7グループ)	874		
			会場設営一式	438		
			運営管理一式	200	66	
			画板等(210個)	158		
			スタンプ・スタンプ台(各8個)	12		15
			スタンプ台紙(740枚)	18		18
	小計		2,000	1,248		
	合計		11,254	7,205		
江西	健康防犯パトロール事業	学区連	ユニフォーム(夏用・冬用各70着)	420	345	
			帽子(70個)	85	41	
			たすき(50個)	68	65	
			LED信号灯(24個)	63	51	
			防犯ホイッスル(10個)	1	1	

(注) 実施主体

市：名古屋市、実行委：実行委員会、学区連：学区連絡協議会、
民児協：民生委員児童委員協議会

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算現額	決算額
江西	健康防犯パトロール事業	学区連	拡声器 (2 台)	6	5
			懐中電灯 (10 個)	15	14
			自転車 (3 台)	59	59
			電動自転車 (3 台)	302	299
			自転車盗難防止鍵、ライト等 (各 6 個)	54	28
			青パト拡声装置	101	62
			掲示板の整備 (11 基)	1,775	1,378
			活動拠点へのパソコン等設置	165	165
			消火器 (21 基)	406	406
		小 計	3,520	2,919	
	街路灯の充実	市	街路灯(新設1基、取替7箇所)	990	882
小 計		990	882		
	合 計	4,510	3,801		
汐路	地域イベントの実施(山崎川に関する地域イベント)	実行委	楽器運搬、会場設営一式	100	23
			コンサート出演者、ガイド役への謝礼(7人、2団体)	16	34
			審査員謝礼(6人)	24	12
			入賞者賞品(12個)	24	24
			参加記念品(250個)	10	25
			イベント用消耗品	14	20
			チラシ作成(12,700枚)	56	44
			行事用保険料(400人)	6	12
		小 計	250	194	
	地域イベントの実施(清掃を中心とした地域イベント)	実行委	観察会講師謝金(4人)	36	36
			ごみ拾い参加者飲み物代(240人)	30	18
			軍手(240双)	4	4
			ごみバサミ(250本)	92	43
			イベント用消耗品	26	11
			チラシ作成(7,500枚)	56	56
		行事用保険料(250人)	6	8	
市	不要樹木の伐採・清掃	600	593		
	小 計	850	769		

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算 現額	決算額
汐路	山崎川沿川の 施設整備	市	設計委託料	700	105
			雨除けつきベンチの設置 (2基)	6,000	4,830
		小計	6,700	4,935	
	山崎川周辺の 案内板設置	市	設計委託料	200	200
			案内板の設置(2基)	2,000	1,302
		小計	2,200	1,502	
	合計			10,000	7,400
豊治	交通安全及び 防犯施設の整 備	市	街路灯(新設15基、取替 4箇所)	1,855	1,458
			道路白線(21箇所)	1,215	1,128
			カーブミラー(5基)	850	827
			案内看板(1基)	70	12
		小計	3,990	3,425	
	地域安全パト ロールの実施	学区連	車両リース料(4か月)	324	206
			車両貼付用マグネット (2枚)	17	28
			ベスト、帽子(30組)	164	203
			LED合図灯(12個)	44	24
			防滴型メガホン(6台)	93	63
			スカットボール(2個)	3	3
			小計	645	527
	地域防災力の 向上	学区連	防災イベントチラシ作成 (500枚)	60	63
			イベント実施経費(10回)	540	537
			救助工具セット(8セッ ト)	512	504
			チェーンソー(8台)	640	638
			発電機(8台)	1,458	1,174
			ローリータンク(8台)	180	166
			物置(8基)	1,223	1,223
丸カケヤ(8個)			41	40	
ハンドメガホン(8個)	139	153			

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算現額	決算額
豊治	地域防災力の向上	学区連	脚立 (8 台)	129	115
			発電機用 4 輪キャスター (8 台)	59	84
			コードリール (8 個)	89	40
			ハロゲンライト (8 台)	106	32
			救急箱 (8 個)	71	101
			スーパーLEDライト (32 台)	118	95
		小 計	5,365	4,965	
合 計			10,000	8,917	
小幡	小幡健康スクール事業	学区連	講習会の実施(5講座24回)	400	400
			講演会の実施 (4 回)	800	800
			カレッジ講座(3講座20回)	500	500
			健康管理手帳のデザイン委託	150	150
			健康管理手帳の作成 (10,000 冊)	800	800
			運営用消耗品等	266	164
			おばた元気づくり広報発行 (3 回)	408	306
			コミセンに健康管理機器を設置	23	18
	小 計	3,365	3,151		
	町内会・家庭でできる健康事業	学区連	指導者講師謝金 (16 人)	54	15
			ラジオ体操CD、プレーヤー (39 セット)	275	270
			日程表・自己採点表	69	—
		小 計	398	285	
	ウォーキングコース・公園整備	学区連	ウォーキングコースマップ作成 (10,000 部)	300	289
		市	公園に運動・健康遊具設置 (4 基)	4,741	4,578
小 計		5,041	4,867		

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算 現額	決算額
小幡	乳がん・子宮がん検診受診率向上事業	学区連	ポスター作成 (400 枚)	189	189
			チラシ、カレンダー作成 (11,300 枚)	149	143
			自己触診 DVD 購入 (10 枚)	13	12
			小 計	351	344
	いきがい健康フェスタ事業	学区連	優勝者賞品 (6 個)	180	117
			将棋セット、囲碁セット (各 10 組)	144	136
			卓球ラケット (20 個)	25	19
			ピンポン球 (3 ダース)	8	6
			得点板 (5 個)	23	17
			運営用消耗品等	117	43
			会場設営一式	346	373
			小 計	843	711
			合 計	9,998	9,358
	桶狭間	歴史を活かしたまちづくり			
歴史を活かしたまちづくり		市	桶狭間古戦場案内図の改修 (1 基)	1,005	110
			史跡案内標識、案内看板等の設置 (8 基)	1,875	1,893
			小 計	2,880	2,003
住民のコミュニケーション					
防災運動会の開催		学区連	会場設営一式	788	925
			広報経費 (チラシ 4,500 枚、ポスター50 枚)	205	68
			行食用保険料 (500 人)	15	15
			小 計	1,008	1,008
桶狭間古戦場まつり秋の陣の開催		実行委	会場設営一式	1,207	1,243
			広報経費 (チラシ 4,000 枚、ポスター60 枚)	97	44
	ニュースポーツ用具リース料 (6 種)		677	500	
		小 計	1,981	1,787	

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算現額	決算額
桶狭間	通行の安全				
	通行の安全	市	カラー路肩の設置(1箇所)	3,000	2,749
			街路灯の設置(新設5基)	995	847
		小計		3,995	3,596
	合計		9,864	8,394	
貴船	地域福祉の推進・地域のつながりづくり				
	子育て支援 (集会所で子育てサロン) 拡充事業	民児協	子育て勉強会等講師謝金(2人)	39	26
			人形劇会等の公演委託(2回)	200	184
			チラシの印刷(2回)	250	23
			会場用安全マット(28枚)	180	96
			会場費(4回)	4	3
	小計		673	332	
	ひとり暮らしのお年寄りの見守り活動事業	民児協	お年寄りとの交流会用茶菓代(3回)	60	21
			お年寄りと幼児との交流会用茶菓代(0回)	40	—
			会場費(3回)	4	2
			チラシの印刷(2回)	100	99
	小計		204	122	
	地域住民が気軽に立ち寄れる場所づくり(集会所でサロン)事業	学区連	集会所の改装	542	537
			サロン用机(2台)、椅子(8脚)	159	158
			相談所案内員勉強会講師謝金(5人)	78	—
			サークル講師謝金(2人)	78	26
			サークル会場費(17回)	17	1
			チラシの印刷(0回)	50	—
	小計		924	722	
	あいさつ運動事業	学区連	運動実施各戸標示用プレート(700軒分)	210	210
			のぼり、ポール、設置台(10セット)	70	69

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算現額	決算額	
貴船	あいさつ運動事業	学区連	ベスト (150 着)	375	375	
			チラシの印刷 (1 回)	100	14	
		小 計		755	668	
	中高生が一緒に楽しめる地域交歓の場の創設事業	学区連	事前学習・料理教室講師謝金 (2 人)	26	26	
			事前学習・料理教室材料費 (34 人分)	60	32	
			事前学習用バス借上 (1 回)	80	76	
			事前料理教室会場費 (1 回)	5	5	
			事前学習・料理教室保険料 (14 人分)	4	1	
			チラシの印刷 (1 回)	50	10	
	小 計		225	150		
	歴史と伝統を継承し、こころ豊かなまちづくり事業	学区連	地域文化財を語り継ぐ会講師謝金 (1 人)	26	13	
			会場費 (1 回)	2	1	
			資材等消耗品 (1 回分)	20	2	
			チラシの印刷 (1 回)	100	10	
	小 計		148	26		
	時計未整備公園への設置事業	市	時計 (2 基)	1,480	1,256	
		小 計		1,480	1,256	
	貴船だより始め地域広報活動の強化事業	学区連	広報紙の印刷 (8 回)	520	513	
			小 計		520	513
	地域の安心安全					
	青パト隊の活動	学区連	車両リース料 (8 か月)	504	361	
			青色回転灯等	386	358	
		小 計		890	719	
学区内防災情報網の確立事業	学区連	簡易防災無線機 (12 台)	1,680	1,418		
		登録料等 (12 台分)	48	41		
	小 計		1,728	1,459		
街路灯の設置	市	街路灯 (新設 5 基)	1,100	863		
	小 計		1,100	863		

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算現額	決算額
貴船	環境への配慮				
	家庭生ごみ堆肥を活用した花いっぱい運動	学区連	堆肥づくり勉強会講師謝金(6人)	78	78
			家庭用生ごみ堆肥化容器(60軒分)	350	114
			堆肥化資材(54軒分)	100	30
			堆肥づくり勉強会のチラシの印刷(0回)	50	—
			堆肥づくり勉強会の会場費(6回)	5	5
			花づくり勉強会講師謝金(2人)	26	26
			公園等花壇用花苗、種等(5か所分)	30	28
			家庭配布用花苗、種(100軒分)	60	29
			家庭配布用プランター、バスケット等(100軒分)	95	58
			花づくり勉強会のチラシの印刷(1回)	50	10
			花づくり勉強会の会場費(2回)	2	2
			花いっぱい運動説明プレート(7か所)	42	36
		市	公園植樹(2か所)	80	79
小計			968	495	
合計			9,615	7,325	
表山	防災備蓄品の充実	学区連	備蓄用簡易トイレセット(10個)	25	25
			備蓄用簡易トイレセット(お年寄り向け5個)	41	41
			ワンタッチトイレテント(15基)	101	101

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算 現額	決算額
表山	防災備蓄品の 充実	学区連	非常用トイレベンリー袋 (200袋)	29	29
			水運搬用容器(10個)	22	9
			貯水タンク(2基)	303	205
			運搬・貯水用容器(200 個)	41	20
			乾パン(6缶)	48	51
			米飯各種(800袋)	188	213
			おかゆ(350袋)	92	81
			缶詰パン・ビスケット (384缶)	117	96
			粉ミルク	7	6
			缶詰・保存副食等各種	29	31
			調味料	16	14
			名水(124ケース)	174	174
			炊き出し用具(2セット)	638	618
			やかん(2個)	6	6
			調理器具一式(2セット)	151	151
			カセットコンロ、ボンベ (2セット)	16	16
			ランタン(5台)	21	6
			懐中電灯(10台)	21	17
			乾電池(140本)	11	9
			発電機(1台)	108	86
			コードリール(2個)	15	12
			照明器具(4個)	15	22
			毛布等(350枚)	1,386	1,359
			ロールダンボール等(70 本)	86	112
			大工工具一式(1セット)	9	25
			ショベル(2本)	6	3
軍手(60双)	1	2			
衛生用品一式(1セット)	8	8			

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算現額	決算額
表山	防災備蓄品の充実	学区連	乳児用品 (3 セット)	7	7
			手押し台車 (6 台)	29	19
			リヤカー (1 台)	54	41
			トランシーバー等 (5 台)	72	71
			ラジオ (3 台)	9	9
			収納庫 (器物・物資収納用、1 基)	260	260
			応急救護セット (1 セット)	27	27
			折りたたみ担架 (1 台)	11	11
			容器 (ガソリン、灯油) (2 個)	13	10
			衝立 (間仕切り) (1 個)	34	34
			車椅子 (1 台)	57	52
			ブルーシート (50 枚)	13	21
			ロープ (2 本)	25	3
			腕章 (役割表示用) (20 枚)	4	5
	小 計			4,346	4,118
	防災器具庫の整備	学区連	町内会別器具庫 (10 基)	685	686
			救助工具袋セット (17 セット)	1,115	1,109
			ブロック別器具庫 (3 基)	600	600
			折りたたみ担架 (8 台)	84	84
			リヤカー (4 台)	215	168
			テント (4 張)	406	417
			簡易テント付トイレセット (8 台)	346	287
	小 計			3,451	3,351
	防災ソフト事業	学区連	家具固定講習会講師料	20	20
			家具固定講習会用消耗品	30	30
			住宅耐震化調査専門家同行用交通費	17	—

(単位：千円)

区分	事業名	実施主体	事業内容	予算 現額	決算額		
表山	防災ソフト事業	学区連	防災講演会講師謝金	20	20		
			防災講演会招聘旅費	22	—		
			発表会事務費	19	19		
			学区防災訓練用消耗品	10	10		
			4ブロック防災訓練用消耗品	10	9		
			スタンプラリー事務費	20	—		
			助け合いの仕組みづくり事務費	20	—		
			防災マップ印刷(20枚)	90	16		
			防災マップ作成事務費	20	4		
			認識票作成費用(11,000枚)	440	390		
			非常食講習会子ども向け(3回)	165	105		
			非常食講習会高齢者向け(3回)	150	86		
			避難所体験訓練用消耗品	10	10		
			避難所体験訓練事務費	20	2		
			小計	1,083	721		
			防犯カメラの設置	学区連	防犯カメラ(3基)	1,120	828
					小計	1,120	828
合計			10,000	9,018			

(4) 地域予算において計画どおり実施できなかった主な事業

区分	事業内容	計画	実績	理由
江西	健康防犯パトロール事業			
	青チャリ隊のパトロール	週2回	月0~4回	協力者が集まらなかったため
徒歩隊のパトロール	週1回	月0~2回		
豊治	地域安全パトロールの実施			
	青色回転灯を装備した自動車によるパトロール	10月から開始(週1~2回)	12月から開始(週3回)	実施体制づくりが遅れたため
小幡	町内会・家庭でできる健康事業			
	ラジオ体操の実施	39か所	12か所	場所の確保ができなかったため
貴船	ひとり暮らしのお年寄りの見守り活動事業			
	お年寄りを対象とした交流会等の開催	8回	3回	実施体制づくりが遅れたため
	地域住民が気軽に立ち寄れる場所づくり(集会室でサロン)事業			
	サロンにおけるサークル活動	34回	17回	実施体制づくりが遅れたため
	あいさつ運動事業			
	あいさつ運動プレートの掲示	700世帯	450世帯	参加者が集まらなかったため
	歴史と伝統を継承し、こころ豊かなまちづくり事業			
語り継ぐ会の開催	2回	1回	実施体制づくりが遅れたため	
家庭生ごみ堆肥を活用した花いっぱい運動				
	堆肥づくりへの参加	100世帯	54世帯	参加者が集まらなかったため
	花いっぱい運動への参加	200世帯	100世帯	
公園に桜の植樹	2本	2本(枯死)	少雨等で枯死	
表山	防災ソフト事業			
	防災講演会への参加	200人	70人	参加者が集まらなかったため
	防災マップの配布	各戸配布 6千枚	町内会単位で20枚 常備	町内会単位で更に精度の高いものを作るため

(5) 孤立死防止、児童虐待防止、いじめ・不登校対策及び待機児童対策に関連する事業

ア 平成22年度に実施した事業

区分	事業	内容
貴船	ひとり暮らしのお年寄りの見守り活動事業	近隣住民参加による見守りグループの結成と交流会
	地域住民が気軽に立ち寄れる場所づくり（集会室でサロン）事業	高齢者の孤立防止や地域住民の交流の場として、相談所の設置及びサークル活動の場の提供

イ 平成23年度実施に向けて平成22年度に議論した事業

(ア) 地域予算として提案された事業

区分	事業	内容
小幡	虐待防止の普及啓発活動の推進	虐待防止のためのチラシ配布
貴船	子育て支援の拡充事業	児童虐待防止のための勉強会
	ひとり暮らしのお年寄りの見守り活動事業	近隣住民参加による見守りグループの結成と交流会
	地域住民が気軽に立ち寄れる場所づくり（集会室でサロン）事業	高齢者の孤立防止や地域住民の交流の場として、相談所の設置及びサークル活動の場の提供
表山	小中学生向けつどい	「生命」の尊さを考える映画の観賞会

(イ) 地域予算として提案されなかった事業及び理由

区分	事業	内容	理由
貴船	キッズルームの設置	専門家とボランティアの協力による子育て支援	場所やスタッフの確保が困難であるため
	「孤立死」ゼロの街	高齢者の孤立死防止のための勉強会	ひとり暮らしのお年寄りの見守り活動事業で対応するため

(6) 孤立死防止、児童虐待防止、いじめ・不登校対策及び待機児童対策に対する市長の見解

孤立死防止、児童虐待防止、いじめ・不登校対策及び待機児童対策については、市としてもしっかり取り組まなければならないが、今のままでいいとは思わない。

直ちに解決できることではないが、市だけでは手の届かない部分について、例えば地域で勉強会を開催することなど、多くの市民が参加し、どうしたらよいかを議論して、手を差し伸べるといった地域ぐるみのきめ細かな対応が期待される。

地域での見守りや気づきなど、地域の関心を高めていくことが効果的であると考えます。こうしたことを民生委員・児童委員の皆様だけに任せては過大な負担となってしまうので、地域での活動に参加する市民を増やしていくことが大切である。

そのための仕組みの一つが地域委員会であると考えている。

(7) 地域予算として提案されたが予算化できなかった主な事業

事業	理由
<ul style="list-style-type: none"> ・個人の共有名義で所有している公民館の改修 (桶狭間) ・青色回転灯を装備した自動車の購入 (豊治、貴船) ・高速カラー印刷機の購入 (貴船) 	私的な財産を形成するもの
<ul style="list-style-type: none"> ・道路の停止線の補修 (豊治) ・徐行を促す路面への表記 (汐路) 	国、県など名古屋市以外に決定権限のあるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターの建設や改修 (貴船、江西) ・児童館の改修 (小幡) ・自転車置き場の無料化 (小幡) ・歩行者系サイン看板への散策ルート等の表示 (田代) 	全市的な施策、計画、基準等に沿って決定すべきもの
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯の設置 (江西、豊治、桶狭間、貴船、表山) ・防犯パトロールに係る謝金、ガソリン代の支給 (豊治) 	既存の名古屋市補助金や地域の自主財源 (町内会費、参加費等) の巻き替えを図るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・住民への一律の健康器具の配布 (小幡) 	一律物品給付を行うもの
<ul style="list-style-type: none"> ・地域マップの増刷 (田代) 	地域予算の実施段階での内容の変更
<ul style="list-style-type: none"> ・山崎川の橋梁へ蛇の目傘の形をした屋根の設置 (汐路) 	構造上設置が困難、地域予算の限度額内での設置が困難

(注) 1 「青色回転灯を装備した自動車の購入」は車両のリースで対応した。

2 「地域マップの増刷」は、平成23年度の地域予算で対応した。

(8) 田代地域委員会での案内看板の審議経過

開催日・回	内 容
平成22年3月31日 第2回田代地域委員会	<p>参加住民から「昭和塾堂への案内や歴史的建造物の位置がわかる道標を作ってほしい。」との意見があった。</p>
平成22年4月21日 第4回田代地域委員会	<p>昭和塾堂への案内や歴史的建造物の位置の分かる道標は、土木事務所の所管する地域案内サインの補修と新設による対応を検討した。</p> <p>また、まち歩きのための案内などを目的とした区役所所管の看板を4基新設することとした。</p>
平成22年4月28日 第5回田代地域委員会	<p>第5回の田代地域委員会に先立って行った地域委員、区役所職員及び土木事務所職員による勉強会において地域案内サインには掲載できる内容に制限が多いことが判明したため、新設と補修を実施しないこととした。</p> <p>一方で、まち歩きのための案内などを目的とした区役所所管の看板は、4基から8基へ増やすこととした。</p>

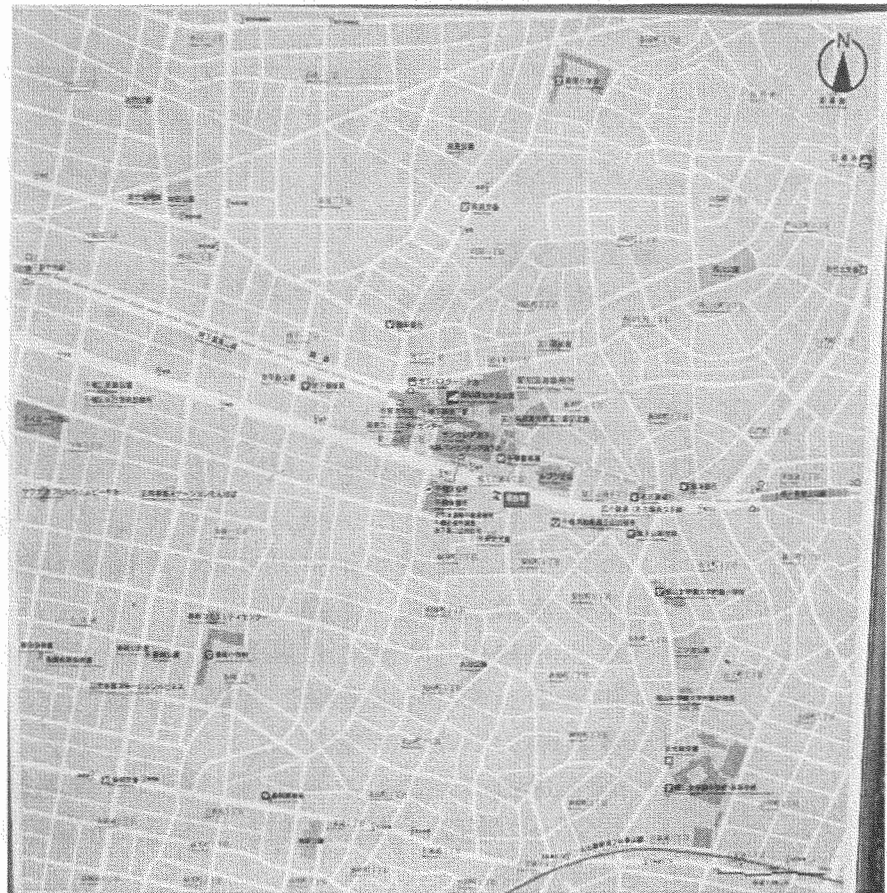
(参考資料)

勉強会（平成22年4月21日開催）資料



歩行者系サインシステム（地域案内サイン、地区誘導サイン）

地図掲出基準



● 公共公益施設

○ 諸官公庁

国、県、市役所、区役所、公所、
消防署、警察、職業安定所など

○ 学校

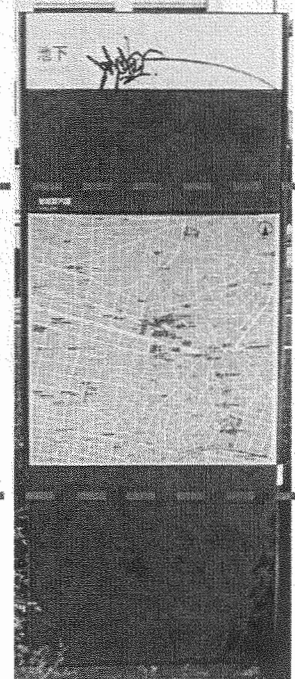
学校教育法で定める国公立、私立の
小・中・高・大学・高等専門学校・
盲学校・ろう学校・養護学校
ただし、専修学校、各種学校は除く

○ 病院等

国公立病院
民間のベッド数 200 以上の病院
休日急病診療所

○ 公立の教育施設


生涯学習センター、体育館など



歩行者系サインシステム（地域案内サイン、地区誘導サイン）

- 博物館、美術館
原則として博物館法による登録博物館及び博物館相当施設とするが、表示面に余裕のある場合は、他の類似施設（教育委員会「施設ガイド」掲載施設）も表示する。
- 民間施設
- 大規模小売店舗
売場面積 6,000m²以上の小売店舗
- ホテル
国際観光ホテル整備法で定める登録ホテル及び登録旅館
- コンベンション施設
(財)名古屋観光コンベンションビューロー編集「名古屋コンベンション施設ガイドブック」の掲載施設
- 観光施設、史蹟、名勝
名古屋観光 100 選に掲載された施設、国・県・市の指定文化財となっている建造物、史蹟、名勝
- 興業場、スポーツ施設
興業場法に定める許可施設で概ね収容人員 500 人以上の施設
スポーツ施設は教育委員会「施設ガイド」掲載施設
- 報道機関
新聞社は市政記者クラブ加盟社
- 放送局
放送法で定めるテレビジョン放送局、中波放送局 (AM)、超短波放送局 (FM)、有線テレビジョン放送法で定める CATV 局
- 銀行
銀行法で定める普通銀行 (都市銀行、地方銀行)、信託銀行、特別立法に基づく特別銀行
ただし、ATM のみは除く
- 郵便局 (特定郵便局含む)

歩行者系サインシステム（地域案内サイン、地区誘導サイン）

	<ul style="list-style-type: none"> ●ランドマーク施設（歩行者を案内するための目標となる地物） ○都心部については原則として延床面積 10,000m² 以上の建築物（同一名称の複数の施設が一団となって 10,000m² 以上となるものを含む） ○戸数 100 を超える公的賃貸住宅団地 ○その他ランドマーク性の高い（地域の目印となる）と思われるもの（他の表記を妨げない範囲で表示） <p>→Ex. ショッピングセンター、工場、保育園、幼稚園など</p>
<p>誘導施設の 選択方法</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>上記地域案内図掲出基準を満たした施設とする。</p> <p>なお、表記可能な施設数を超える施設がある場合は、次の点に留意し、最も望ましい施設を選択し表記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に公共性の高い施設を優先する。 （鉄道駅、主要施設等） ・地域案内サインや他の地区誘導サインとのシステム連携を勘案する。 </div> </div>

<p>注意点</p>	<p>[地域案内図、地区案内図に掲出できないもの]</p> <p>上記掲出基準に満たさない施設 観光・文化財・史蹟・遺跡などの案内、解説 住居表示（店舗・私邸） など</p>
------------	---

(参考資料)

天満通にある案内板について

ある区ネットロード事業で平成11年度に整備されたもの。ある区ネットロード事業は、高齢者・障害者を始め、誰もが気軽に散歩やウォーキングを楽しみ、居住地周辺の自然や史跡などの魅力を再認識し、健康づくりをかねて楽しく歩けるコースを、地域の人々が計画策定から維持管理まで参画することのできるパートナーシップによるまちづくり事業である。

全体のコーディネートは区役所（まちづくり推進室）が行い、住民と行政がコース選定をし、案内板や路面表示などの整備を緑政土木局（土木事務所）が行った。

平成11年度に、千種区でモデル事業として実施し、平成17年度までに9地区で実施された。平成18年度以降この事業は、休止されている。

天満通案内板



20 平成22年度経営アドバイザーの活動実績について

氏名	役職等	回数	報酬	交通費	提言等を受けた施策
浅野 洋	税理士	1回	15,300円	260円	予算編成等について
石村耕治	白鷗大学法学部教授	1	15,300	12,190	予算編成等について
小島敏郎	青山学院大学 国際政治経済学部教授	4	61,200	99,520	中志段味特定土地 画整理事業の推進 について(2回)
					----- 予算編成等について (2回)
杉藤清行	株式会社明倫 ゼミナール代 表取締役	4	61,200	1,600	教育改革について
					----- 生活学習協力員に ついて

提言等の内容	反映状況	所 管
<ul style="list-style-type: none"> 各区に一つというのは均等であるが、近隣区の施設を利用するといった取り決めをしないと、公の施設の見直しは進まないと思う。 	—	財政局 総務局
<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市は、民間がペイできないことだけをサービスし、それ以外はやるべきでないという考えと、市場競争の中で生き残るものだけを提供すべきという、どちらの哲学か考え方をもつべきである。 	—	財政局 総務局
<ul style="list-style-type: none"> 合意内容において、詳細な協議内容のものについては合意後に作業部会を作り、そこで協議をするようにすること。 今回の調印で、合意事項をもとに今後の信頼関係を醸成してくように努めることが肝要である。法を盾に執行するものは強い立場にあることを自覚し、弱い立場にあるものの思いやりを忘れないように努めること。 	土地区画整理事業に関し中志段味地区農業従事者と合意	住 宅 都市局
<ul style="list-style-type: none"> 事業の見直しについては、透明性、客観性を確保して検討するというプロセスが重要である。 予算は削っていくだけではなく、希望を持てるようにすることも必要である。 名古屋市はできるだけ民間がやらないところをやるような大方針をたてて事務事業の整理をやらないと夢のある予算ができない。 	新たな行政評価により対応	財政局 総務局
<ul style="list-style-type: none"> 海外勤務経験のある人が、生きた英語で教えると英語を学ぶ肩の荷をおろすことができる。 不登校対策では、先生ではなく一般企業人が上手に話しを持っていくと心を開くことがある。 これからは英語が大事であり、重点を置いていくべきである。 	児童等の育成支援のため、学校現場において外部人材を活用	教 育 委員会

氏名	役職等	回数	報酬	交通費	提言等を受けた施策
杉藤清行 のつづき					予算編成等について
					教育振興基本計画 (案)について
武田邦彦	中部大学教授	1	15,300	400	大高赤塚地区土地区 画整理組合の新規設 立について
長尾正崇	広島大学大学 院医歯薬学総 合研究科教授	7	107,100	212,820	児童虐待事例の検証 について(6回)

提言等の内容	反映状況	所 管
<ul style="list-style-type: none"> 一部の人ができることに強く押し返すことができるシステム、組織を作らないと、少数の意見を論破するのは難しいと思う。 	—	財政局 総務局
<ul style="list-style-type: none"> 世界の動きが早く、グローバル化に対応できる教育が必要である。 子どもたちの体力向上のためには、社会で子どもを育てるという視点が必要である。 	体力向上策の必要性について計画案に記載	教 育 委員会
<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害特別警戒区域の解除を行う前向きな区画整理である。 現況竹林の伐採は特に問題ない。 	土地区画整理組合の設立認可手続きを進めた。	住 宅 都市局
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の情報を統合すると虐待を早く発見することができたのではないか。 関係機関とやりとりがない期間があれば定点観測が必要である。 地域が子どもに関心を持ち、コミュニティをつくりあげることが重要である。 職員の危機意識を高めるため研修の強化が求められる。 居住実態のつかめない事案では、警察の協力は不可欠であるが、具体的にどのような協力体制が可能か課題である。 過去に検証された事例から、参考になるところは活用していくといい。 育児に不安がありSOSを出しても、それを受け留めるところがなければ何も改善されない。受け皿を全市的に検討すべきではないか。 区におけるリスクアセスメントについて、中区の特性を活かしたものを作成するのではないか。 警察との連携に関しては、具体的に、どのような協力方法が可能であるかを、今後検討を進めていく必要がある。 	<p>区役所に家庭福祉相談員を6人増員するとともに、区における「子ども虐待相談マニュアル」を改訂し、研修を実施</p>	天白区 中 区

氏名	役職等	回数	報酬	交通費	提言等を受けた施策
長尾正崇 のつづき					予算編成等について
藤田民夫	名古屋記念病院 院長	1	15,300	580	小中学校保健室での 地域医療について
堀越哲美	名古屋工業大 学大学院工学 研究科教授	1	15,300	400	名古屋市住生活基本 計画(案)について
山田昭義	社会福祉法人 AJU自立の 家専務理事	1	15,300	460	予算編成等について
合計		21	321,300	328,230	

(注) 50音順

提言等の内容	反映状況	所 管
<ul style="list-style-type: none"> 一番問題になるのはコミュニティの再構築であり、地域委員会はそのベースになると思う。 	—	財政局 総務局
<ul style="list-style-type: none"> 学校のセキュリティや感染の問題、待合や医療廃棄物の問題のほか、医師をどうまわすのかななどの課題がある。 	平日夜間診療を行う診療所を2箇所から4箇所に拡大	健 康 福祉局
<ul style="list-style-type: none"> シックハウスについても計画に明記すること。 バリアフリー化だけでなく、ユニバーサルデザインを住まいに取り入れるべきなので、計画に記載すること。 良好な居住環境を形成するためには、地区計画制度や都市計画制度の活用、建築協定の締結促進だけでなく、都市計画マスタープランで検討している地域まちづくりや提案制度について記載すべきである。 	シックハウスやユニバーサルデザインに関して計画案に記載	住 宅 都市局
<ul style="list-style-type: none"> 事業の見直しは、本当にそれが必要かということ、きちんと情報提供して市民に問えば、全市的に判断してくれると思う。 	新たな行政評価において対応	財政局 総務局

21 附属機関等について

(1) 附属機関（総務局所管分）

名 称	委員数	開催回数	報酬単価	報酬実績
	人	回	円	円
名古屋市特別職報酬等審議会	10	1	会長 15,300 委員 13,500	123,300
名古屋市交通問題調査会	24	9	会長 13,500 委員 12,600	1,061,100
名古屋市職員倫理審査会	6	3	会長 13,500 委員 12,600	166,500
公務災害補償等審査会	3	0	会長 15,300 委員 13,500	0
名古屋市公立大学法人評価委員会	5	9	12,600	529,200
名古屋市男女平等参画審議会	15	10	会長 13,500 委員 12,600	928,800
名古屋市男女平等参画苦情処理委員	3	3	12,600	113,400

(注) 1 委員数は平成22年4月1日現在

2 附属機関とは、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、執行機関の担任する事項について、調停、審査、諮問又は調査等を行うための機関をいう。

(2) 附属機関に類する機関（総務局所管分）

名 称	委員数	開催回数	謝金単価	謝金実績
	人	回	円	円
地域委員会研究会	6	11	12,600	869,400
中期戦略ビジョン（仮称）有識者会	8	0	座長 14,250 委員 13,300	0
開府500年のまちの姿懇談会	4	3	座長 13,500 委員 12,600	153,900
名古屋市電子市役所推進会議	23	2	—	0
情報システムの適正化業務委託事業者選定委員会	6	2	12,300	49,200
名古屋市女性の活躍推進企業認定審査会	8	4	11,650	279,600

(注) 1 委員数は平成22年4月1日現在（ただし、地域委員会研究会は平成22年6月設置）

- 2 附属機関に類する機関とは、市の施策若しくは事業の企画・立案又は方針の決定に際し、専門的知識の導入、利害の調整、民意の反映等を目的として、要綱等により市が設置する協議会、懇談会等の機関をいう。

(参考)

附属機関

所 管	名 称	委員数	開催回数	報酬単価
		人	回	円
市民経済局	なごやボランティア・NPO センター運営審議会	8	3	12,600
	名古屋市交通安全対策会議	19	1	—
	名古屋市町名、町界審議会	11	1	12,600
	名古屋市情報公開審査会	5	12	会長 15,300 委員 13,500
	名古屋市個人情報保護審議会	7	7	会長 15,300 委員 13,500
	名古屋市大規模小売店舗立地 審議会	12	3	12,600
	名古屋市消費生活審議会	20	2	12,600
	名古屋市中央卸売市場運営協 議会	12	1	12,600
	名古屋市市場取引委員会	23	0	12,600
環境局	名古屋市環境審議会	25	2	12,600
	地域環境審議会（16 機関）	303	43	11,700
	名古屋市環境影響評価審査会	20	14	12,600
	名古屋市公害健康被害認定審 査会	15	24	19,800
健康福祉局	名古屋市社会福祉審議会	32	2	12,600
	名古屋市介護認定審査会	312	2,511	16,200
	名古屋市民生委員推薦会	14	3	12,600
	名古屋市障害者施策推進協議 会	20	1	12,600

所 管	名 称	委員数	開催回数	報酬単価
健康福祉局	名古屋市精神保健福祉審議会	20	0	12,600
	名古屋市精神医療審査会	20	1	12,600
	名古屋市障害者スポーツセンター運営審議会	22	2	12,600
	名古屋市障害程度区分認定等審査会	80	157	16,200
	名古屋市国民健康保険運営協議会	21	3	12,600
	保健所運営協議会（16機関）	347	16	11,700
	名古屋市感染症予防協議会	25	0	12,600
	名古屋市感染症診査協議会	30	98	委員及び 感染症部 会委員 12,600 結核部会 委員 19,800
子ども青少年局	なごや子ども・子育て支援協議会	33	1	12,600
	名古屋市青少年交流プラザ運営審議会	10	1	12,600
住宅都市局	名古屋市都市計画審議会	19	3	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋市広告・景観審議会	16	3	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋市建築紛争調停委員会	10	1	12,600
	名古屋市建築審査会	7	6	会長 15,300 委員 13,500

所 管	名 称	委員数	開催回数	報酬単価
住宅都市局	名古屋市開発審査会	7	4	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋市土地利用審査会	7	1	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋都市計画事業大曾根北 土地地区画整理審議会	9	1	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋都市計画事業筒井土地 地区画整理審議会	9	1	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋都市計画事業葵土地 地区画整理審議会	10	0	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋都市計画事業有松土地 地区画整理審議会	10	0	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋都市計画事業大高駅前 土地地区画整理審議会	9	0	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋都市計画事業ささしま ライブ24土地地区画整理審議 会	9	0	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋都市計画事業下之一色 南部土地地区画整理審議会	10	1	会長 13,500 委員 12,600

所 管	名 称	委員数	開催回数	報酬単価
住宅都市局	名古屋市日比野市街地再開発 審査会	11	0	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋市鳴海駅前市街地再開 発審査会	13	0	会長 13,500 委員 12,600
	名古屋市有松駅前市街地再開 発審査会	13	0	会長 13,500 委員 12,600
緑政土木局	名古屋市放置自動車廃物判定 委員会	10	0	12,600
	名古屋市自転車等駐車対策協 議会	20	1	12,600
	名古屋市損害評価会	15	2	12,600
	名古屋市緑の審議会	7	2	会長 13,500 委員 12,600
教育委員会	名古屋市社会教育委員	10	6	12,600
	名古屋市生涯学習推進センタ ー協議会	15	2	12,600
	名古屋市女性会館運営審議会	12	3	12,600
	名古屋市スポーツ振興審議会	14	2	12,600
	名古屋市文化財調査委員会	16	2	12,600
消防局	名古屋市防災会議	64	1	12,600
	名古屋市国民保護協議会	24	0	12,600

(注) 1 委員数は平成22年4月1日現在

2 附属機関とは、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、執行機関の担任する事項について、調停、審査、諮問又は調査等を行うための機関をいう。

22 男女平等参画推進センターの講座一覧について

講座名		開催日時	回数	定員
前期	ファイナンシャルプランニング 入門講座	木曜日 夜間	13回	男女 50人
	さわやか自己表現講座	土曜日 午後	3	女性のみ 20
	働き方ひとつで素敵に輝ける！ これで納得、女性の働き方講座	土曜日 午後	4	女性のみ 20
	人間関係を元気にする プレゼンテーション講座	土・日曜日 午前・午後	4	男女 30
後期	必勝！主婦からの就活講座 —就活前のダンドリが両立のコツ	木曜日 午前	5	女性のみ 20
	わかりやすい労働・社会保険の 入門講座	木曜日 夜間	13	男女 40
	からだと心をつめて —自分と向き合う時間を大切にするために	土曜日 午後	4	女性のみ 20
	おひとりさまの暮らし塾 —安心・安全な暮らしのために	土曜日 午前・午後	5	女性のみ 20
	これって恋愛？暴力？ —心地よいカレとの関係のために	土・日曜日 午後	3	女性のみ 30
	男女平等プチ参画セミナー	土・日曜日 午前・午後	4	男女 15

(参考) 女性会館の講座一覧について

(前期)

講座名	開催日時	回数	定員
点訳ボランティア入門講座	月曜日 午後	4回	男女 20人
楽！楽！子育て	火曜日 午前	4	男女 20
女性とメディア ～あなたは大丈夫？～	火曜日 午前	4	男女 30
こころのメール ～障がいのある女性とともに～	水曜日 午前	5	女性のみ 20
世界の女性たちは今 ～社会的性別（ジェンダー）とわたし～	水曜日 午前	4	男女 30
いっぱい笑って、いっぱい話そう	金曜日 午前	4	男女 30
きらっと輝く！なごやの女性 ～文化編～	金曜日 午前	4	男女 30

(後期)

講座名	開催日時	回数	定員
子どもの幸せにつながる日米の教育 ～家庭・学校における教育から～	月曜日 午前	3回	男女 30人
ワタシ流の生き方宣言!	火曜日 午前	4	女性のみ 30
コミュニケーション上手の コツ伝授!～実践コーチング～	水曜日 午前	4	男女 30
私がデザインする私の暮らし ～芸術工学に学ぶ生活のデザイン～	水曜日 夜間	4	男女 30
女性の能力活用術! ～さまざまな分野でのエンパワーメントを 目指して～	金曜日 午前	5	女性のみ 40
託児ボランティア養成講座	金曜日 午前	4	男女 20
変革のとき 桃山 ～変化の時代を生きた女性たち～	金曜日 午後	4	男女 30
みんな笑顔で暮らせる未来 ～外国人女性の人権から考える～	火・土曜日 午前	6	男女 30
自分で守るココロとカラダ	土曜日 午後	4	女性のみ 30

23 中部国際空港の利用状況の推移について

(1) 旅客数、貨物取扱量

区 分		平成21年度		平成22年度	
旅客数	国際線	約 430	万人	約 451	万人
	国内線	約 495		約 469	
	合 計	約 925		約 921	
貨 物 取扱量	国際線	約 11	万トン	約 11	万トン
	国内線	約 3		約 3	
	合 計	約 15		約 14	

(注) 単位未満を切り捨てしたため、合計と一致しない場合がある。

(2) 便数

区 分		平成22年3月31日 現在		平成23年3月31日 現在	
国際線	旅客便	277	便/週	282	便/週
	貨物便	13		20	
	合 計	290		302	
国内線	旅客便	73	便/日	72	便/日
	貨物便	0		0	
	合 計	73		72	

(3) 就航都市数

区 分		平成22年3月31日 現在		平成23年3月31日 現在	
国際線	旅客便	29	都市	30	都市
	貨物便	7		3	
国内線	旅客便	22		19	
	貨物便	0		0	

24 モノづくり文化交流拠点の基盤整備等について

区 分	内 容	決 算 額
基 盤 整 備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤工事（歩行者通路、園路、 広場、舗装等） ・ 建築工事（シェルター、休憩施 設、便所） ・ 維持管理（清掃、光熱費） 	<p style="text-align: right;">千円</p> <p style="text-align: right;">262,069</p>
構 想 に か か る 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業参画の誘導策の検討 ・ モノづくり文化交流講座の開催 ・ 港の賑わいづくりに向けた海上 交通に関する調査 	<p style="text-align: right;">2,352</p>
合 計		<p style="text-align: right;">264,421</p>

25 名古屋開府400年記念事業について

(1) 事業概要

事業名	名古屋開府400年記念事業
主催	名古屋開府400年記念事業実行委員会 (平成20年6月設立)
事業期間	平成20年度～平成22年度
会場	名古屋市内
メインテーマ	未来の子どもたちへ
事業コンセプト	「夢、つなごう」

(2) 主な事業

区分	開催時期 開催場所	事業概要	経費
オープニング セレモニー	12月31日 ～1月1日 名古屋城	名古屋開府400年 の幕開けを祝うカウ ントダウンイベント	千円 13,942

区 分	開催時期 開催場所	事業概要	経 費
名古屋開府 400年記念 式典	4月25日 名古屋国際 会議場	名古屋開府400年 を振り返る市民参加 の音楽劇	千円 36,000
なごや☆ ^こ 子ど もCity 2010	8月8日 ～22日 中小企業振興会館	子どもたちによる「遊 び」と「体験」のまち	66,168
大山車まつり	10月16日 若宮八幡社 ～名古屋城	市内13輦の山車に よる本町通奉曳 ^{ほうえい}	12,952
清須越夢歩き	10月16日 清須市内 ～名古屋城	美濃路を歩く市民参 加の提灯行列	40,000
夢なごや 400	通年事業	名古屋の埋蔵金発掘 プロジェクト	26,376
NAGOYA アカリナイト	12月17日 ～25日 久屋大通公園一帯	テレビ塔ライトアッ プ、灯りをテーマとし た作品コンテスト	46,370

(3) 事業費の内訳

総事業費 523,798千円 (本市負担 479,000千円)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	千円	千円	千円
事業費	8,266	89,846	277,124
広報宣伝費	25,618	47,719	28,606
管理費等	12,004	14,253	20,362
合 計	45,888	151,818	326,092
(本市負担)	(45,000)	(149,000)	(285,000)

(注) 上記とは別に、民間企業・市民等主催の452件の事業がパートナーシップ事業として実施された。

(参考) 名古屋開府400年記念事業に関連した各局の主な事業
(平成22年)

局名	事業名	実施日	経費
			千円
総務局	第56回名古屋まつり	10月16日 ～17日	116,000
市民経済局	ナゴヤ堀川歴史観光クルーズ	10月1日 ～24日	13,944
	名古屋城本丸御殿 玄関の復元過程特別公開	10月16日 ～26日	28,186
	名古屋城お堀めぐり	10月8日 ～31日	16,962
	にっぽん商店街シンポジウム in 愛知・名古屋	10月21日 ～23日	6,854
緑政土木局	名城・堀川まきわら祭り	8月6日 ～7日	5,994
教育委員会	博物館特別展「名古屋400年のあゆみ」	1月9日 ～3月7日	16,000
	徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念特別展「大名古屋城展」	7月28日 ～9月26日	2,985
交通局	市バス開業80周年感謝祭	3月21日	27,784

26 2010年上海国際博覧会への出展について

(1) 出展概要

ア 開催名称

開府400年を迎えた「歴史・技術・環境のまち名古屋」

イ 開催テーマ

「モノづくり文化・武家文化」

ウ 参加日

平成22年8月6日（金）から12日（木）まで（7日間）

エ 場所

日本館1階イベントステージ

オ 来場者数

70,264人（1日平均10,038人）

(2) 行催事内容

区 分		実 施 日	主 な 内 容
ス テ ー ジ	オープニング	8月6日	名古屋おもてなし武将隊による演武、南京市大学生による獅子舞など
	市民団体	8月7日 ～11日	12の市民団体による音楽、演劇、舞踊、伝統芸能の披露
	ファイナル	8月12日	どまつりの演舞、南京市の子どもたちによる祝舞など

区 分	実 施 日	主 な 内 容
展 示	8月6日 ～12日	・からくり山車模型 ・金鯨のレプリカ
ワークショップ	8月7日 ～11日	人形制作、リサイクルアートの制作など、5つの市民団体によるワークショップ

(3) 経費内訳

区 分		決 算 額	主 な 内 容
業 務 委 託	運 営	千円 27,794	・展示物の輸送 ・会場の造作
	行 催 事	22,586	・ステージ全般
	企 画 ・ 広 報	3,590	・パンフレットの作成 ・報告書及び記録映像の制作
事 務 費		2,525	・旅費
合 計		56,495	

(4) 出展の成果

来場者数が7,308万人と史上最大規模の博覧会において、300名を超える市民や「名古屋おもてなし武将隊」が参加し、「歴史・技術・環境」の3つの視点から開府400年を迎えた名古屋を紹介し、脈々と受け継がれる「モノづくり文化・武家文化」を世界にPRした。

27 広報なごや及びテレビ・ラジオ番組の費用対効果について

(1) 22年度予算額・決算額と広報効果測定方法

区分	予算額	決算額	測定方法
広報なごや	千円 215,420	千円 140,461	市政アンケート 広報モニター
テレビ広報	86,200	76,086	視聴率 市政アンケート 広報モニター
ラジオ広報	11,724	11,721	聴取率 市政アンケート

(2) 広報効果の測定結果

ア 広報なごや

(ア) 市政アンケート

- ・市の事業・行事を広報なごやから知る人 …76.7%
- ・読む頻度「毎月」「ほとんど毎月」「ときどき」 …80.5%
- ・全体の印象「非常にわかりやすい」「どちらかといえはわかりやすい」 …65.3%

(イ) 検証結果

a 評価

アンケート結果から、市民の8割が広報なごやで市政の情報を得ており、十分な広報効果があると評価した。今後も、よりわかりやすい紙面づくりに努めたい。

b 改善例

- ・区版1頁目のフルカラー化
- ・文字を拡大
- ・「くらしのガイド」のフルカラー化

イ テレビ広報

(ア) 平均視聴率

- ・市施策等紹介番組「知っ得!なごや」 …5.0%
- ・市施設・行催事等紹介番組「おもてなし隊なごや」 …6.4%

(イ) 市政アンケート「テレビ番組を見たことのある人の割合」

- ・市施策等紹介番組「知っ得!なごや」 …20.5%
- ・市施設・行催事等紹介番組「おもてなし隊なごや」…42.2%

(ウ) 検証結果

a 評価

例年並みの視聴率・認知度を維持しており、一定の広報効果があると評価した。今後は、さらに多くの市民に見ていただけるような番組づくりに努めたい。

b 改善例

- ・テレビ番組でのプレゼントの実施
- ・テレビ番組でのタイトルの常時表示

ア ラジオ広報

(ア) 平均聴取率

- ・AM番組「名古屋市だより」 …3.4%
- ・FM番組「I LOVE NAGOYA!」 …2.6%

(イ) 市政アンケート「ラジオ番組を聞いたことのある人の割合」

- ・AM番組「名古屋市だより」 …7.9%
- ・FM番組「I LOVE NAGOYA!」 …3.0%

(ウ) 検証結果

a 評価

例年並みの聴取率・認知度を維持しており、一定の広報効果があると評価した。今後は、さらに多くの市民に聞いていただけるような番組づくりに努めたい。

b 改善例

市民からの質問コーナーを設け、親しみやすい番組とした。

28 広報なごやの市政アンケート結果について

(1) 市の事業・行催事などを何から知ることが多いか (複数回答)

広報なごや	76.7%
新聞広告	23.5%
市政広報テレビ番組	10.3%
市政広報ラジオ番組	2.5%

(2) 広報なごやをどの程度読むか

「毎月読む」「ほとんど毎月読む」「ときどき読む」	80.5%
--------------------------	-------

(3) (広報なごやをお読みになる方) 記事の全体の印象はどうか

「非常にわかりやすい」「どちらかといえばわかりやすい」	65.3%
-----------------------------	-------

(4) 市が情報提供する場合、今後力を入れてほしい手段(媒体)は何か

(複数回答)

広報なごや	58.8%
新聞広告	20.3%
市政広報テレビ番組	11.4%
市政広報ラジオ番組	1.0%

29 分限処分及び懲戒処分について

(1) 分限休職者数

ア 回数別

回 数	人 数
1 回目	248
2 回目	92
3 回目	34
4 回目以上	34
合 計	408

イ 期間別

期 間	人 数
1 年未満	161
1 年以上 2 年未満	105
2 年以上 3 年未満	68
3 年以上 4 年未満	36
4 年以上	38
合 計	408

(2) 分限免職者数及び懲戒免職者数

区 分	人 数
分限処分による免職	3
懲戒処分による免職	6

30 監察にかかる費用について

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
名古屋市職員 倫理審査会委員 報酬	千円 163	千円 216	千円 190	千円 167
コンプライアンス・ アドバイザー 業務委託	1,523	1,575	1,523	1,281
セクシュアル・ ハラスメント 外部相談員 業務委託	263	263	252	126
その他事務費	3,260	564	779	432
合 計	5,209	2,618	2,744	2,006

31 職員研修について

(1) 区分別決算額

区 分	決 算 額
基 本 研 修	14,512 千円
ジャンプアップ研修	2,334
派 遣 研 修	639
講 演 会	964
リーダー養成研修	1,057
自己啓発支援	88
所 属 別 研 修	—
合 計	19,594

(2) 研修一覧
ア 基本研修

研 修 名		対 象 者
新規採用者		新規採用職員
新規ワークシェア 任期付職員		新たにワークシェアリングによる 臨時的任用職員及び任期付職員 になった職員
再任用職員		新たに再任用された職員
2年目職員		採用2年目の職員
3年目職員		採用3年目の職員
中堅職員（3級）		新たに3級に昇格した職員
主任・技能主任（4級）		4級に昇格予定の職員
55歳職員		5年後に定年退職予定の職員
副係長		副係長である職員
係長有資格者 （1年目）	新規採用者研修リー ダー養成	前年度に係長昇任選考合格した 職員
	3年目職員研修リー ダー養成	
	さわやかマナー向上 リーダー養成	
	人権指導者養成	
係長有資格者（2年目）		前々年度に係長昇任選考合格した 職員
新任係長		係長職昇任者
新任課長		課長職昇任者
新任部長		部長職昇任者

イ ジャンプアップ研修

研 修 名	対 象 者
コミュニケーション力向上講座	採用 2 年目以降の職員
市民要望対応実践講座	
アサーティブコミュニケーション実践講座	
コーチング実践講座	
協働ファシリテーション実践講座	
P D C A サイクル実践講座	
説明力練成講座	
育児休業者職場復帰支援	育児休業から復帰した職員
東海三県一市合同	採用 2 年目以降の職員
かいぜんサポート講座	職員

ウ 派遣研修

研 修 名	対 象 者	
自治大学校第 3 部派遣	課長・係長職にある職員	
企業派遣	短期企業派遣	採用 3 年目以降の職員
	長期企業派遣	
N P O 派遣	採用 2 年目以降の職員	
キャリアアップ推進	係長職 6 年以上の女性職員	
法制実務（衆議院法制局派遣）	採用 3 年目以降の職員	

エ 講演会

研 修 名	対 象 者
職員講演会	職員
幹部セミナー	局長職及び部長職にある職員

オ リーダー養成研修

研 修 名	対 象 者
公務員倫理研修指導者養成	各局区室の監理主幹及び監理主査
新規採用者研修リーダー養成（再掲）	前年度に係長昇任選考合格した職員
3年目職員研修リーダー養成（再掲）	
さわやかマナー向上リーダー養成（再掲）	
人権研修指導者養成（再掲）	
人権研修指導者研究会	人権研修指導者養成研修修了者

カ 自己啓発支援

研 修 名	対 象 者	
通信	職員	
通学	英会話	職員
	地方自治法・地方公務員法	職員
	手話	採用2年目以降の職員
TOEIC受験	職員	
オープンサロン	職員	

キ 所属別研修

研 修 名	対 象 者
さわやかマナー	職員
公務員倫理	職員
人権	職員
次世代育成支援	職員
実務	職員

32 職員の採用説明会について

(1) 平成22年4月実施

対 象	平成22年6月実施の採用試験の受験予定者
実 施 日	平成22年4月27日(2回)
内 容	本市職員からの業務説明、個別質問対応
参加者数	延べ821人
経 費	資料の印刷経費、職員の人件費など4千円

(2) 平成23年2月実施

対 象	進路未定の大学1年生及び2年生
実 施 日	平成23年2月16日(2回)
内 容	本市若手職員からの業務説明、個別質問対応
参加者数	延べ144人
経 費	資料の印刷経費、職員の人件費など4千円

33 市議会解散請求署名審査、市議会の解散投票等について

(1) 市議会解散請求署名審査の審査期間、従事人数及び費用

区 分	内 容
署 名 審 査 期 間	平成 22 年 10 月 5 日～11 月 24 日 (51 日間)
従 事 人 数	延べ 8,480 人
(内訳)	
職 員	延べ 5,185 人
臨 時 的 任 用 職 員	延べ 1,685 人
人 材 派 遣 会 社 か ら の 職 員	延べ 1,610 人
署 名 審 査 に 要 し た 費 用	89,604,590 円

(注) 署名審査に要した費用には、署名簿の縦覧、異議申出の決定に要した費用を含む。

(2) 市議会の解散投票に要した費用

区分	金 額	主 な 内 訳
人件費	千円 48,973	・解散投票周知用チラシ配付謝礼 (2,856 千円) ・超過勤務手当等 (46,117 千円・共通経費)
物件費	72,208	・解散投票周知用チラシ作製 (1,005 千円) ・投票用紙の作製 (6,078 千円) ・投・開票所関連費用等 (65,125 千円・共通経費)
合 計	121,181	—

(注) 市長選挙及び知事選挙と同日に執行されたため、共通経費については、各選挙及び投票で按分している。

(3) 市・県議会議員選挙に要する費用

区 分	金 額
ア 市議会議員選挙（単独） （平成 22 年度決算額）	千円 481,328
イ 県議会議員選挙（単独）	397,318
(内訳)	
平成 22 年度決算額	100,783
平成 23 年度予算額	296,535
ア+イ	878,646
ウ 市・県議会議員選挙を同時執行 した場合の費用（概算額）	700,000

(注) 県議会議員選挙については、平成 23 年度に執行されているため、平成 22 年度の決算額と平成 23 年度の予算額の合計を計上した。

34 署名簿の縦覧会場における縦覧者の行為及びその対応について

(1) 問題のあった行為及びその対応

事 例	対 応
他の縦覧者を扇動して職員を責めた。	静粛にするよう要請し、粘り強く説明を続けた。
職員を複数人で取り囲み、暴言を続けた。	複数人での対応とし、会場へ一度に入れる人数の制限をした。
長時間にわたり、署名の効力に関する説明を求めた。	対応職員を増員した。
大声で暴言を放ち、職員を平手で突き、パイプ椅子を床に投げつけた。	静粛にするよう要請した。
長時間にわたり縦覧し、他の縦覧者の縦覧に支障が生じた。	より広い会場に変更した。
シャープペンで、署名簿を毀損しようとした。	制止し、落ち着くよう説得した。

(2) 警察の出動を要請した事例

- ア 職員を突き、転倒させた。
- イ 複数人で大声を張り上げ、長時間にわたり会場の一角を占拠した。
- ウ 長時間にわたり大声で暴言を放ち、退去の要請に応じなかった。
- エ 怒号や罵声を一斉にあびせ、机を激しく叩いた。
- オ 無効事由に納得がいかないとして署名簿で閲覧台を叩き、閲覧台を毀損させた。
- カ 酔って縦覧に訪れ、公文書を無理やり持ち帰ろうとした。

35 署名審査における行政不服審査法に基づく審査請求の状況
について

区 分	内 容
件 数	507件
対応状況	全ての審査請求につき、裁決を行っていない。

36 市・県議会議員選挙における住所区以外の選挙区から立候補した候補者について

(1) 名古屋市議会議員一般選挙

選挙区	候補者氏名	所属党派 (立候補時)	立候補時の住所区	(参考) 現在の 住所区
千種区	黒川 慶一	減税日本	名東区	千種区
北区	荒深 久明臣	減税日本	西区	—
中村区	鈴木 庸一	みんなの党	中区	—
昭和区	大村 光子	減税日本	緑区	昭和区
瑞穂区	山内 重雄	無所属	昭和区	—
熱田区	片桐 栄子	減税日本	中区	熱田区
中川区	林 直樹	減税日本	中区	中川区
	亀山 理	減税日本	港区	—
	原 弘美	みんなの党	北区	—
	高田 勲	無所属	天白区	—
港区	宇佐美 郁江	減税日本	昭和区	港区
	服部 晃尚	減税日本	瑞穂区	—
緑区	斎藤 幸男	みんなの党	昭和区	—
名東区	高橋 達	日本共産党	千種区	—
天白区	鈴木 孝之	減税日本	緑区	天白区
	福岡 祐作	みんなの党	名東区	—

(注) 「現在の住所区」は、当選人のみ記載

(2) 愛知県議会議員一般選挙（市内選出）

選挙区	候補者氏名	所属党派 (立候補時)	立候補時 の住所区	(参考) 現在の 住所区
千種区	東 裕子	減税日本	名東区	千種区
北 区	荒深 久明臣	減税日本	西 区	北 区
中 区	佐藤 敦	減税日本	中川区	中川区
天白区	錦見 輔	減税日本	瑞穂区	天白区
	斎藤 幸男	無所属	昭和区	—

(注) 「現在の住所区」は、当選人のみ記載

37 市長不在期間の市長日程の対応について

(1) 基本的な考え方

地方自治法の規定に基づき、山田副市長を職務代理者に定めた。

市長が出席を予定していた行事については、職務代理者又はその日程を所管する副市長若しくは局長が代理で対応

(2) 平成23年1月22日から2月6日の行事

月 日	行事名	代理出席
1月25日	平成23年名古屋市消防表彰式	山田副市長
1月27日	2011栄町商店街新年躍進祈年会	市民経済局長
1月27日	名古屋市歯科医師会新年会	住田副市長
1月28日	名古屋市市政功労者クラブ会合	山田副市長
2月1日	生物多様性条約第10回締約国会議支援 実行委員会（第4回）	山田副市長
2月3日	第19回名古屋市老人クラブ大会	住田副市長

38 市長辞職及び議会解散による予算の成立過程について

時期	平成21年度	平成22年度
1月	市長査定	
2月上旬 12日 19日 28日	当初予算案の公表 2月定例会 開会	市長査定 当初予算案の公表
3月 24日 30日	↓ 当初予算議決 閉会	3月定例会 開会 ↓ 暫定予算議決
4月 27日		↓ 当初予算議決 閉会

39 議会解散により発生した経費について

・ 暫定予算議案の印刷経費 1,586千円

40 22年度通常枠予算における圧縮額への対応について

(1) 総務局の圧縮目標額

461百万円

(2) 圧縮した主な事業

事業	圧縮額	主な内容
職員安全衛生管理	百万円 150	職員健康診断等の内容を精査、福利厚生事業の見直し
市庁舎の管理	60	設備保守水準の見直し等
電子市役所の推進（職員情報システム含む）	59	行政内部事務システムの保守・運用項目の精査等
議会の運営	30	運営経費の精査
職員研修	22	内容を精査し、事業を見直し
監査事務局、人事委員会及び選挙管理委員会にかかる経費	16	経常事務費の精査等
男女平等参画推進センターの運営	8	指定管理の更新にあたり、利用料金制の導入、委託業務範囲の拡大
職員貸与被服	8	貸与被服の見直し
市史の編さん	8	刊行スケジュールを見直し、単年度の経費負担を低減
負担金・分担金の見直し	3	21世紀職業財団の負担金の廃止、指定都市市長会分担金等の減額
その他	97	経常事務費の精査等
合計	461	

